

第三十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第十八號

大正五年二月二十八日(月曜日)

午前十時三分開議

議事日程 第十八號 大正五年二月二十八日

午前十時開議

第一 請願委員長報告

第二 商業會議所法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第三 理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第四 特許法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第五 實用新案法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第六 重要物產同業組合法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第七 郡制中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第八 質屋取締法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 古物商取締法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 社區裁判所復設ノ請願

會 議

第十二 田島區裁判所復設ノ請願

會 議

第十三 觀音寺區裁判所復設ノ請願

會 議

第十四 木更津區裁判所復設ノ請願

會 議

第十五 高千穂區裁判所復設ノ請願

會 議

第十六 富岡區裁判所復設ノ請願

會 議

第十七 三條區裁判所復設ノ請願

會 議

第十八 大田原區裁判所復設ノ請願

會 議

第十九 龍野區裁判所復設ノ請願

會 議

第二十 鳥取地方裁判所米子支部權限復舊ノ請願

會 議

第二十一 小濱區裁判所復設ノ請願

會 議

第二十二 眞岡區裁判所復設ノ請願

會 議

第二十三 佐原區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十四 園部區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十五 川島區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十六 掛川區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十七 佐野區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十八 福岡區裁判所復設ノ請願 會 議

第二十九 新庄區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十 復古功臣前功表彰ニ關スル請願 會 議

第三十一 大垣區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十二 能代區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十三 大河原區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十四 新見區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十五 札幌區內豐平橋架設ノ請願 會 議

第三十六 岩村田區裁判所復設ノ請願 會 議

第三十七 巖手縣氣仙郡管轄裁判所變更ノ請願 會 議

第三十八 岡山縣久米郡井和村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第三十九 岡山縣赤磐郡石生村管轄郵便局變更ノ請願 會 議

第四十 福島區裁判所復設ノ請願(文書表第三) 會 議

第四十一 岐阜縣本巢郡穗積村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第四十二 福島縣信夫郡岡山村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第四十三 軍人恩給法規中改正ノ請願 會 議

第四十四 長野縣小縣郡和村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第四十五 信託會社法制定ノ請願 會 議

第四十六 魚津區裁判所復設ノ請願 會 議

第四十七 兵庫縣加古郡阿閉村ニ郵便局設置ノ請願 會 議

第四十八 武生區裁判所復設ノ請願 會 議

第四十九 神戸地方裁判所豐岡支部權限復舊ノ請願 會 議

第五十 福島區裁判所復設ノ請願(文書表第三) 會 議

第五十一 揖斐川及根尾川砂防工事施行ノ請願 會 議

○議長(公府德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔長谷川試補朗讀〕

昨二十七日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

大正三年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正三年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正三年度大正三年臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正三年度帝國鐵道積立金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

關稅定率法中改正法律案

朝鮮ノ生産ニ係ル生果、核子及金屬ノ移入稅ニ關スル法律案

證券ヲ以テスル歲入納付ニ關スル法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵清閑寺 經房君 副委員長 平井晴二郎君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

商業會議所法中改正法律案修正報告書

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案可決報告書

鐵道敷設法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

特許法中改正法律案

實用新案法中改正法律案

重要物產同業組合法中改正法律案

郡制中改正法律案

司法代書人法案

酒造稅法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

國籍法中改正法律案

明治四十年法律第十一號中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

北海道會法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

齒科醫師法中改正法律案

罹災救助基金法中改正法律案

同日簡易生命保險法案兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通常選セリ
議長 伯爵林 博太郎君 副議長 子爵前田 利定君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

〔岡田良平君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 岡田君、チヨット御待チ下サイ、茲ニ諸君ニ對シテ最モ悲シムベキコトニ付テ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、昨二十七日本院議員富田鐵之助君薨去ノ報ニ接シマシテ、洵ニ痛嘆ノ至ニ堪ヘマセヌ、同君ハ初期以來本日マデ本院議員ヲ繼續セラレマシテ、忠實ニ職務ヲ盡サレマシタル所、測ラズモ薨去ノ報ニ接シマシテ、實ニ痛嘆ノ至ニ堪ヘマセヌ、依ッテ弔辭ヲ贈リタイト存ジマスガ、御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ニ御諮リシマスルコトハ豫算委員長ヨリ本會議中ニ豫算委員會ヲ開キタイト云フ要求ガ出テ居リマス、是ハ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○岡田良平君 本員ハ昨日ノ議事ノコトニ付キマシテ、チヨット御伺ヒ致シタイコトガゴザイマス、昨日討論終結ノ動議ガ出マシテ、ソレニ定規ノ賛成ガゴザイマシタ、其後ニ國務大臣ガ演壇ニ立ッテ演說ヲセラレマシタ、其後ニ澤柳君ガ發言ヲ求メラレタノデゴザイマス、其澤柳君ガ發言ヲ求メラレタノハ、討論ハ終結シタケレドモ、國務大臣ガ演說ヲセラレタ以上ハ即チ第九十六條ニ「討論終結ノ後本議題ニ關シ國務大臣又ハ政府委員ノ發言アリタルトキハ討論ハ再開シタルモノト看做ス」ト云フ箇條ガゴザイマスノデゴザイマス、此箇條ニ依ッテ一旦討論ハ終結シタケレドモ、國務大臣ガ一タビ演壇ニ立

タレタ以上ハ、討論ガ再ビ開ケタモノト看做シテ發言ヲ求メラレタノデア
タノデゴザイマス、然ルニ議長ハ討論ヲ再開シタルモノトハ看做サズト云フ
御宣言ガアッタノデゴザイマス、一體此規定ノ出來マシタ其理由ハドウ云フ譯
デアカト申シマスレバ、討論終結ノ後ニ國務大臣ガ演壇ニ立ッテ演説ヲ爲サ
レテ、ソレニ對シテ反駁スルコトモ辯解スルコトモ出來ナイコトニナリマシ
タトキニハ、國務大臣ハ自分ノ方カラ大砲ヲ敵ニ向ッテ發射スルコトハ出來
ルガ、國務大臣ニ向ッテ敵カラ應答スルコトガ出來ナイト云フ立場ニナリマス
カラ、國務大臣ノ方カラハ大層都合ガ宜シウゴザイマスガ、議員側カラハ甚
ダ不利益ナ位置ニ立チマスカラ、縱令討論ガ終結シタ後ト雖モ、國務大臣ガ
發言シタ以上ハ、反駁スル機會ヲ與ヘルト云フノガ此規則ノ精神デアアルニ相
違ナイノデゴザイマス、然ルニ昨日ハ實ハ討論終結ノ動議ガ確定シナカッタ
ノデアリマス、討論終結ノ動議ガ出テ賛成ハアリマシタケレドモ、決議ニナ
ラナカッタノデゴザイマスカラ、此規則ヲ文字通りニ讀ミマス、昨日ノ場合
ニ於テハ討論ハ繼續シナイモノト云フ御宣告ガ誠ニ當ヲ得テ居ルヤウニ思フ
ノデゴザイマス、併ナガラ一體討論ガ終結シテ、討論終結ノ動議ガ成立シタ
後デスカラ、國務大臣ガ演壇ニ立ッテ以上ハ討論ガ再開サレタト看做スノデ
ゴザイマスカラ、即チ其決議モセヌ前ニ即チ發案者ガ、討論終結ヲ發議シタ
人ガアッテ、成規ノ賛成ガアッタバカリデアルト云フヤウナ場合ニデス、國務
大臣ガ出テ演説ヲシタ場合ニ、之ニ對シテ反駁ヲ加フルノ餘地ガナイト云フ
コトハ、ドウモ規則トシテ甚ダ不備デアルト思ハレル、或ハ解釋ガ狹隘ニ失
スルノカ、規則ノ不備デアリマスルカ、冤ニ角規則ヲ文字通り解釋シマスル
ト不備デアルト云フヤウナ風ニ見ルヨリ外ナイト思ヒマス、ソレデ私ハ此規
則ノ出來マシタ當時ニ遡ッテ色々記憶ヲ辿ッテ考ヘテ見マシタ所ガ、決シテ此
規則ハ不備デナイト云フコトヲ思ヒ當リマシタノデ、即チ何レノ場合ト雖モ
國務大臣ノ發言ニ對シテハ之ニ向ッテ反駁辯解スルノ餘地ヲ存シテ居ルト
云フコトヲ發見シタノデゴザイマス、即チ昨日ノ場合ニ於テ討論終結ノ動議
ガ出マシテ成規ノ賛成ガアリマシタ後ニ、此採決ヲセズシテ國務大臣ニ發言
ヲ許サレタト云フコトガ間違デアッタノデナイカト云フコトヲ心付イタノデ
ゴザイマス、第九十六條ノ第一項ニ「討論終局ノ動議ヲ提出シ二十人以上ノ
賛成アルトキハ議長ハ議院ニ諮ヒ討論ヲ用キスシテ之ヲ決スヘシ」ト云フ箇
條ガゴザイマス、二十人以上ノ賛成ガアリマシタトキニハ議長ハ直チニ院議

ヲ諮ウテソレヲ決スベキ譯デ、即チ是ハ一ツノ連續シタ手續ニナッテ居ル、討
論終結ノ動議ガ成立ッテ、直チニ討論ヲ用ヒズ決スベキモノデアッテ、此間ニ
議員ノ發言ヲ許スコトモ出來マセヌシ、國務大臣ニ發言ヲ許スコトモ出來ヌ
モノデアルト思フ、國務大臣及政府委員ハ何時デモ發言スルコトヲ得ルト云
フ規則ハアリマスケレドモ、併ナガラ此發言ハ何時タリトモト申シマシテモ、
他ノ發言ヲ妨害イタシマシタリ、或ハ又議院ノ手續ノ進行ノ中間ニ飛入ッテ其
手續ノ進行ヲ妨ゲルト云フコトハ是ハ出來ヌ筈デゴザイマスカラ、即チ討論
終結ノ動議ガアッテ二十人以上ノ賛成ガアリマシタトキニハ、其中間ハ國務大臣ガ
飛入ッテ發言スルコトハ出來ナイ、ソレハ必ズ直チニ院議ニ諮ッテ決スベキノ
順序デアルト思フノデアリマス、左様ニ解釋イタシマスレバ、討論終結ノ後
ニ本議題ニ對シテ國務大臣及政府委員ノ發言アリタルトキハ討論ハ再開シタ
ルモノト看做スト云フ規定ハ決シテ不備デナイト、斯ウ云フ風ノ規定ヲ置キマ
スレバ何レノ場合ニ於テモ差支ナイト云フコトガ申サレルノデゴザイマス、
要スルニ昨日ノ場合ニ於キマシテハ、討論終結ノ動議ガ出テ賛成者ガアッテ、
其中間ハ國務大臣ガ出テ發言ヲサレタト云フコトガ手續上ニ於テ少シ間違ヒ
マシタ爲ニ、斯様ナル規則ノ不備デナイカト云フヤウナ疑ヲ起スニ至ッタノデ
アルト私ハ信ズルノデゴザイマス、デ是ハ稍々込入リマシタ問題デゴザイマ
スカラ、他日院議ニ諮ウテ御決シテ願ヒタイト思ヒマス、唯今其問題ニ對シ
テ議長ニ御答ヲ願フト云フコトハ本員ハ希望イタシマセヌ、他日ノ機會ニ於
キマシテ御取調ヲ請ヒマシテ、院議ニ諮ッテ其邊ノ點ヲ御決定ヲ願ヒタイト思
フノデゴザイマス

○議長(公府徳川家達君) 岡田良平君ニ御答ヲ致シマス、唯今岡田良平君ノ
御申述ニナリマシタコトニ付テハ、議長ハ勘考ヲ致ス必要ヲ認メマセヌ、此
議場デ直チニ御答ガ出來マス、又院議ニ諮フ者モゴザイマセヌ、昨日……

〔岡田良平君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公府徳川家達君) 議長ノ發言中デゴザイマス、私ハ徒ラニ岡田良平
君ト論ジタイノデハゴザイマセヌ、昨日議長ノ箕浦遞信大臣ニ發言ヲ許シマ
シタノハ議院法第四十二條ヲ適用イタシマシタノデゴザイマス、議院法ノ第
四十二條ニハ、岡田君モ能ク御承知デアル筈デゴザイマス、「國務大臣及政府
委員ノ發言ハ何時タリトモ之ヲ許スヘシ但シ之カ爲ニ議員ノ演説ヲ中止セシ
ムルコトヲ得ス」、是ダケガ書イテアルノデゴザイマス、ソレカラ昨日ハ討論

ハ未ダ終局ヲ告ゲテ居リマセヌ、唯討論終局ノ動議ガ成規ノ賛成者ヲ得マシタ爲ニ成立ツテ居ルト云フノミデアリマス、ソレ故ニ昨日ノ議長ノ考デハ、貴族院規則第九十六條ノ第五項、即チ討論終局後トハ其意味ヲ異ニスルト解釋シテ居リマス、故ニ昨日議長ノ致シマシタコトハ毫モ違法ニアラズト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、第一、請願委員長報告、請願委員長細川侯爵

〔侯爵細川護立君演壇ニ登ル〕

○侯爵細川護立君 請願委員會ノ御報告ヲ致シマス、前回御報告イタシマシタ後、即チ大正五年二月十五日ヨリ二月二十七日マデニ委員會ヲ開キマシタコトガ二回、分科會ヲ開キマシタコトガ十回デゴザイマス、請願文書表ノ報告ヲ致シマシタコトガ二回、特別報告ヲ致シマシタコトガ二回デゴザイマス、請願ヲ受領イタシマシタ件數ガ九十三件、四百七十六通デアリマシテ、ソレニ連署イタシマシタ人名數ガ七萬四千八百九十一名デゴザイマス、審査ノ經過及結果ヲ申上ゲマス、文書表第八、第九回ニ掲載イタシマシタル百六件、五百五十四通ト、外ニ第二回委員長報告ノ際ニ文書表ニ掲載イタシマシタモノノ中デ審査未了ノモノガ百二十七件、六百十七通、合計二百三十三件、一千七百七十一通ノ内デ、院議ニ付スベシト議決イタシマシタノガ五十八件、五十九通、院議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタノガ七十三件、九十五通、取下ゲテ許可イタシマシタモノガ一件、五通、審査未了ノモノガ百一十二件、千十二通デゴザイマス、請願文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌモノガ三十二件、百九十七通ニナリマス、而シテ之ヲ本會期全體カラ見マシテ、本會期全體ノ總テノ經過及結果ヲ簡單ニ申シマスルト、委員會ヲ開キマシタコトガ前後六回、分科會ガ二十八回ニナリマス、文書表ヲ出シマシタノガ九回デ、特別ノ報告ガ六回、請願書ノ受領件數ガ四百二十八件、連署イタシマシタ人名ガ二十五萬四千六百十八名デゴザイマス、其中文書表ニ掲載イタシマシタ件數ガ三百九十六件、千四百八十八通、其中議院ノ會議ニ付スベシト議決イタシマシタモノガ百六十七件、三百二十二通、議院ノ會議ニ付スルヲ要セズト議決イタシマシタモノガ百二十七件、百四十九通、取下ゲテ許可イタシマシタモノガ一件、五通、審査未了ノモノガ百一件、千十二通デゴザイマス、

請願文書表ニ未ダ掲載イタシマセヌモノガ三十二件、百九十七通ニナリマス、此段御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程、第二、商業會議所法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

商業會議所法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十七日

右特別委員長

伯爵松 浦 厚

貴族院議長公爵徳川家達殿

商業會議所法中改正法律案

(小字ハ特別委員ノ修正文ナリ)

第二十六條中「半數」ヲ削ル

第三十條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔伯爵松浦厚君演壇ニ登ル〕

○伯爵松浦厚君 商業會議所法中改正法律案ニ付キマシテ、特別委員會ノ狀況竝ニ經過ヲ御報告イタシマス、抑、此改正法律案ニ付キマシテハ、皆様御承知モアラセラルル通りニ、至ッテ簡單ナル如キモノデゴザイマシテ、又之ニ研究ヲ加ヘ審査ヲ加ヘマス、ナカ／＼複雑ニナッテ、又歴史上關係ノ込入ッテ點ガゴザイマス、ソレデ特別委員ニ於キマシテモ慎重審密ニ議ヲ凝ラシタ次第デゴザイマス、付キマシテ二十一日ト二十六日、二十七日ノ三日ニ互リマシテ、此委員會ヲ開キマシテ、修正ヲ加ヘテ此法律案ヲ可決スルコトニ致シマシタ、其大體ニ付キマシテ是ヨリ申上ゲマス、此法律改正ノ理由ト申スモノハ、取りモ直サズ商業會議所ノ經費徵收ニ付キマシテ、嘗テ強制徵收ノ途ガ開ケテ居リマシタケレドモ中途ニ是ガ闕ケタ、其爲ニ會議所ノ方ニ向ヒマシテ納メ入ルベキ所ノ會費ノ滞納者ガ漸次ニ多額ニ殖エテ參ッタ、ソレニ付テハ此會議所ニ於ケル所ノ仕事ガ、活動上甚ダ十分參ラヌト云フ所カラ致シテ、此改正法律案ヲ此度提出サレタル次第デゴザイマス、ソレト同時ニ此改正案ノ

中ニ修正ヲ今日マデ行ハレタル所ノ……法律案ニ於キマシテ修正ヲ加ヘラレタル點ガ四點ゴザイマス、ソレハ之ニ附隨イタシタ事柄ト、又新ニ加ヘラレタノトゴザイマス、先ヅ第九條ノ第一項ニ「取引所税」ト云フモノヲ「取引所營業税」ト改メ、又「鑛業税」トアルノヲ「鑛產税」ニ改ムル、ソレカラ第九條ノ中ニ五項ヲ加ヘマシテ、唯今マデ「賣藥營業税ヲ納ムル賣藥營業者」ト云フモノガ加ヘラレテナカッタ、之ヲ新ニ加ヘラレタト云フノガ即チ第九條ノ中ニ五項ヲ加ヘラレタル新シイモノデアリマス、ソレカラ第九條ノ納税額ヲ「地區内ニ於ケル納税ノ額」ト改ムルト云フコト、ソレカラ其次ノ項ニ一項ヲ加ヘラレタ、即チ「商業會議所ノ地區ノ内外ニ於テ營業所又ハ事務所ヲ有シ營業税又ハ鑛產税ヲ分別シテ納メサル者ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル納税額ト看做ス」ト斯ウ改メラレマシタ、ソレカラ第十條ノ第二項ニ於キマシテハ、法律ノ改正ニ附隨イタシマシテ、六年ノ懲役又ハ禁錮以上云々ト云フ所ノ文句ニ改メラレマシタ、第十二條ニ於キマシテハ、家督相續ノ後繼者ガ家督ヲ引繼イダ上ノ、權利ヲ引繼ギマシタル所ノ規定ガ加ヘラレテ居リマス、第十八條ニ於キマシテ「商業會議所ノ地區内ニ主タル營業所又ハ事務所ヲ有セサル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ代人ヲ以テ選舉ヲ行フコトヲ得」ト此箇條ヲ加ヘラレマシタ、ソレカラ第二十四條ニ議員ノ任期ノコトガアリマス、是ハ半數以上唯今マデハ改選セラレタノデアリマスガ、總テ四箇年トスルト云フコトニナリマシタ、ソレデ其次ノ二十六號ノ「半數」ト云フ字ヲ削ルコトニナリマシタ、第三十三條ガ唯今申シマシタ所ノ強制徵收ニ取テノ主ナル箇條デアリマシテ、第一項ヲ左ノ如ク改メテ、第三項ヲ削リマシタ、ソコデ「經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ會頭ノ請求アルトキハ市町村ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商業會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ」ト、是ガ此度新シク加ハッタ點デゴザイマス、其他四十八條中ノ「市參事會」云々ト云フコトヲ削ラレテ居リマス、是ガ今度ノ問題ニ付テハ改正ノ主ナルモノデアリマス、第三十三條ガ主ナル改正ノ趣旨デゴザイマス、ソレニ付キマシテ此問題ノ起リマス所ヲ大體ニ付キマシテ成ルベク簡單ニ申上ゲタイト考ヘマス、商業會議所ガ此會費ノ強制徵收ヲ致スニ付キマシテ反對ナル理由ヲ唱ヘル者ガアリマス、其要點ヲ申上ゲテ見マスレバ、第一此商業會議所ノ會費ヲ強制徵收イタスト云フ場合ニナリマシタ以上ハ、今日マデ公法人デハゴザイ

マセヌ、私法人ノ組織團體デアリマスケレドモ、農會トカ若クハ重要物產組合トカ若クハ同業組合トカ、其他之ニ類似イタス所ノ諸會組合等ガ、又同様に權利ヲ希望スルト云フコトヲ求メマシテ、此商業會議所ノ新ニ得ラレタル所ノ特權ト同様ニ、此強制徵收ト云フコトヲセラレルヤウナコトニナッタラ如何デアラウカ、實ニ其結果ハ大ナル弊害ヲ來タスコトガアリハセヌカト云フノガ一ツノ懸念デゴザイマス、又第二ノ懸念ニ付キマシテ會員ノ負擔額ト申シマスモノハ即チ一定ノ制度ヲ置カズ致シテ、會議所ヨリ勝手ニ賦課スルヤウニソレハ任セテ置イテ、之ヲ仕拂ハネバナラヌト云フヤウナコトガアツテハ不都合デアル、是ハ今日モ省令ニ於キマシテ、即チ營業稅納額ノ百分ノ二十五以上ハ賦課スルコトヲ得ヌヤウナル規定ニナツテハ居リマスケレドモ、此農商務省一省ニ於キマシテ即チ百分ノ二十五以上ト云フモノヲ省議上都合上變ヘラレテ、之ヲ徵收スルヤウナルコトガ若シモアツテハ困ル、是ガ即チ懸念ノ一ツデゴザイマス、第三ノ懸念ハ東京ヤ大阪ニ於キマス所ノ商業會議所ハ隨分商工業ニ付キマシテ少カラヌ業務ガアリマス、此發達ヲ圖ルガ爲ニ出來得ル限りノ力ト活動ヲ以テ働キツツアルヤウニ考ヘラルル、併ナガラ全國即チ六十四箇所ノ會議所ニ於テハ、必シモ東京大阪ノ會議所ニ於ケルガ如ク活動モ致シ、世話モ致シテ居ルヤウナル形跡ガアルカドウカ、中ニハ其點ニ乏シイ所ガアルヤウニ考ヘラルル、ソレハ殊ニ考ヲ加ヘネバナラヌコトデハナイカ、是ガ其三デゴザイマス、第四ハ或ハ人ガ銀行又ハ會社ニ關係ヲシタト云フ爲ニ會議所ハ會費ヲ割當テルニ對シテ、其銀行又ハ會社カラ得ル所得ニ應ジテ會費ヲ取ラズ致シテ、即チ其或人ノ所得稅ノ全部ニ掛ケテ之ヲ割當ツル、斯ウ云フヤウナル不公平ナ、今規則ガ謂ハユル人頭割ト申シマスカ、決ッテ居ルラシウゴザイマス、是ガドウモ甚ダ不公平デアルカラ考ヘニヤナルマイ、例ヘバ或者ハ所得稅ヲ納メテ居ッテモ營業稅ハ納メテ居ラヌ人ガアル、然ルニ忽チ一銀行ノ取締役若クハ重役等ニナラレタトキニ於キマシテ、忽チニ其營業稅カラ取ル譯ニ參ラヌカラ、所得稅カラシテ、即チ一カラ十マデノ階級ヲ以チマシテ割當ツルト云フコトニナツテ居ル、是ハ不公平デハナイカト申スノデアアル、最低額ガ二圓五十錢デ、最高額ガ四百圓デアリマス、或ル銀行ノ支配人ノ中ニ三圓納メタル人ト二百圓納メタル人トアリマス、斯ノ如キコトガ即チ此注意ノ一點デゴザイマス、是ガ此特別委員會ニ於キマシテ懸念ヲ致シタル所ノ要點デゴザイマス、付キマシテ此箇條ニ付キマシテハ農商務大

臣若クハ政府委員ニ逐一質問ヲ致シテ答辯ヲ得ル所ガゴザイマシタ、ソレニ付キマシテ尙ホ御參考マデ申上ゲマス、商業會議所ノ會費徵收ニ付キマシテハ、即チ唯今申上ゲマスル通りニ、商業會議所ハ即チ公法人團體デアル、農會ハドウデアルカト言フト私法人團體デアル、然ラバ第一御懸念ニナツタル所ノ此商業會議所ニ強制徵收ヲ許スト云フコトニナリマシタ以上ハ、農會ニ於テ如何デアラウカ、是ハ組織上大ニ違ッテ居ルコトデアルカラ其懸念ニハ及バス、左様ナルコトハナイ筈デアル、又組織ニ於キマシテモ商業會議所ハ即チ商工業、其中ニハ農業ニ關スルコトモアルシ、製造或ハ絹布織物其他種々ノコトニ付キマシテ、必シモ商業會議所員個人ノ利益トカ若クハ個人ノ便利ト云フコトデナイコトモ共ニ其商業會議所ニ於テハ研究ヲシ、又ハ其組合ニ代テ取調ヲシテ、又若クハ當局者其他ニ於テノ諮詢ニ於テモ之ヲ答ヘルコトモ獻身的ニヤッテ居ルノデアル、然ルニ之ニ反シテ農會其他ノ組合ト云フモノハサウデゴザイマセヌ、即チ自分ノ農會ニ於テハ農事發達若クハ農事ニ關スル所ノ事柄ヲ研究シ、自分ノ利益ヲ計リ、其他ノ會モ同ジク左様ナ次第デアラカラ、其レト是レトハ大ニ異ニスルデアルカラ心配ニハ及バス、又若シヤ農會ニ於テ會費其他ノ停滯ヲ來タス場合ニ於テハ、今日マデノ判決例ニ依ッテ民事訴訟ニ於テ之ヲ訴ヘレバ取ルコトガ出來ル、何ゾ必シモ強制執行ヲ此ニ行フ必要ハナイノデアル、是ハ即チ第一ノ懸念ニ對スル答辯ノ要點デゴザイマス、第二ノ現行ノ徵收、現行ノ即チ商業會議所ノ會費徵收法ヲ以テ不公平トスルト云フコトニ付テノ懸念、即チ唯今申上ゲマシタル所ノ營業稅ヲ納メザル者ニシテ所得稅アル者ニ、謂ハユル一等カラ十等ノ中ニ斟酌シテ之ヲ賦課スルト云フ點デゴザイマス、之ニ付テハ即チ今日マデノ慣例且ツ省令ニ於テ銀行ヨリ得ル所ノ所得ノ額ニ於テ會費ヲ割當ツルト云フコトハ餘ホド無理ナヤウデアリ、又不公平デアアルヤウニ見エレドモ、中ニ此所得稅ノ差別ヲ取分ケルノニ、即チ銀行カラノ報酬ハ幾ラデアル、又一家ノ自分ノ財産ニ於テ得ル所ノ所得稅ノ額ハ幾ラデアル、此差別ヲ附クルコトガムヅカシイノデアル、殊ニ此所得稅ト云フモノハ祕密ニ關シテ居ルコトデアルカラ、無闇ニ其人ノ家ニ這入り込ンデ調べルト云フコトハ、法律ノ定メタルコトデナケレバ出來ナイ、稅務署ニ於テ漸ク之ヲ行ヒ得ル位ノコトデアルカラ、其差別ヲ附ケネバナラヌト云フコトニナレバ、何カ少シク玆ニアル商業會議所法ノ上ニ於テモ改正若クハ修正ヲ加ヘルニアラズンバ、又權利ヲ得ルニアラズンバ

此事ハ出來ヌノデアル、是ハドウモ致方ガナイ、ソレカラ致シマシテ此一度……先刻申上ゲマスル中ニ落シマシタカ知レマセヌガ、一度此商業會議所ノ強制徵收ヲ行ウテアッタニ拘ラズ、即チ明治二十九年ニ制定サレタル商業會議所ノ法律ガアル、然ルニ四十二年ニ至ッテ此強制徵收ノ事柄ヲ廢止スルニ至ッタ、其理由ニ付テノ懸念デゴザイマス、ドウ云フ譯デ此四十二年ニ至ッテ徵收ヲ廢止セネバナラヌカト云フ必要ガ起ッタト申セバ、即チ諸君モ御承知デアラセラル通りニ、三稅廢止ト云フコトノ聲ガナカ／＼多ク歌ハレマシタ結果、各全國ノ商業會議所ガ此問題ニ喙ヲ容レマシテ少カラヌ盡力ヲ致シタ形跡ガアル、現ニ東京ノ商業會議所ニハ其時分ニ請願文書マデモ澤山集ッテ、倉庫ニマデモ納メテアルト云フヤウナ噂サヘモ聞エテ居ル、其際ニ此當時ノ請願、斯ノ如キ政治運動マデモ商業會議所デヤルト云フコトデアレバ、ドウシテモ強制徵收ト云フコトハ取消シテ參ラナイ以上ハ弊害ガ起ル、必シモ政治以外ニ於テ……商工業發達ニ於テ商業會議所ガ働クバカリデナイ、即チ間接ニ政治運動モヤルノデアルカラ、斯ウ云フコトニナリマシテ、其強制徵收ノ件ヲ廢止セラレタ大ナル理由デアリマシタ、ソコデ今日ニ於テハ如何デアラウカ、斯ノ如キコトハ再ビシナイト云フ考デアアルカドウカ、又サセナイト云フ考デアアルカドウカト云フコトニ付キマシテモ十分ニ政府委員トモ折衝イタシマシテ、又質問イタシマシタ結果、必ズ今日ハ斯ノ如キコトヲ全國ノ六十數箇所ノ商業會議所ニ於テモヤラヌ覺悟デアリシ、又政府ニ於テモ監督ヲ嚴重ニシテ斯ノ如キコトハヤラセヌ積リデアルト云フ正確ナル答辯ヲ得マシタ、付キマシテハ此時勢ノ進運上、殊ニ今ハ如何ノ場合デゴザイマスカ、即チ歐洲ノ大亂中デアリマスガ、近キ未來ニ於キマシテハ此大亂モ治リマシテ、平和ノ曙光ヲ見ルコトモ遠カラヌコトカトモ考ヘラレマス、然ラバ此際ニ於テ此商業會議所ノ發達ト、協力ト、勞役ト云フコトハ國民ガ大ニ期待セザルヲ得ヌ時機ニ際會シテ居ルノデアル、然ラバ折角今日商業會議所ニ於テモ手ヲ展バシテ多クノ調査ヲシタイト思フケレドモ、調査ヲシヤウトスルニ費用ノ乏シキ爲ニ、或ハ外國ニ人ヲ派出シテ之ヲ調査セシムルコトモ出來ヌ、又人ヲ大勢ヲ雇ウテ文書類ニ就テ取調ベルト云フコトモ出來ヌ、斯ノ如キモノデアッテハ折角戰後經營、即チ列國ノ戰後ニ於テ我國ノ利權ヲ擴張シヤウト云フ際ニ於テモ、其處ニ隔靴搔痒ノ憂ヲ來タスコトガ起リハセヌカト云フコトヲ眼ノ前ニ見ツツアルノニ、之ヲ許サヌト云フノハ甚ダ殘念ナコトデハ

ナイカト云フ意見ハ、特別委員會ニ於キマシテモ全會一致デゴザイマシタ、併ナガラ唯今申上ゲマシタ通りニ少カラ懸念ガゴザイマシテ、又此懸念モ懸念ノミデナシニ、又當ニ政府委員ノ言明ノミデモ安ンゼヌ點ガアリマシテ、旁以テ茲ニ修正ノ一箇條ヲ加ヘタイト云フコトニ滿場一致イタシマシテ、此修正案ヲ提出シタ次第デゴザイマス、即チソレハ第三十條ノ第二項ニ此箇條ヲ新ニ加ヘルト云フコトデアリマス、即チ法律案トシテ諸君ノ御手許ニゴザイマス案デ見マス、第二十六條中「半數ヲ削ル」ト云フ是ノ次ヘ這入リマシ、其箇條ハ「商業會議所ノ經費賦課ニ關スル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」即チ此意味ハ如何デアアルカト申シマスレバ、農商務大臣ハ本法發布ト共ニ、即チ此新法律案ノ發布ト共ニ内務大臣、大藏大臣ト協議ヲ致サレマシテ、地方稅及市町村稅、國稅附加稅ニ關スル制限法ノ精神ニ悖ラザルヤウ、勅令ヲ以テ營業稅其他人頭割……註ヲ致シマス、是ハ先刻申上ゲマシタ一等カラ十等マデヲ掛ケル人頭割……ニ對シテ經費賦課ノ制定ヲ嚴重ニ規定シテ、過徵又ハ不公平ノ憂ナキヤウ最善ノ力ヲ盡サレムコトヲ要ス、斯ウ云フ意味ヲ以テマシテ、此修正案ノ三十條ノ第二項ニ加ヘルコトニ全會一致デ致シマシタ、其外ニ唯今申上ゲマシタ通りニ懸念ノ點モ少カラヌコトデアリマス、ソレハ第九條ノ第三項ニ依ル所ノ選舉權ヲ高ムルコトヲ要ス、是ハ御承知デモ御出デゴザイマセウケレドモ、唯今ハ東京ニ於キマシテ選舉權ヲ得ル會員ト申スモノハ、凡ソ百圓以上ノ營業稅ヲ納メ得ル者以上、大阪、橫濱市ガ七十圓以上、京都、神戸、名古屋ガ五十圓以上、其他ノ田舎ノ市町ガ二十五圓以上、斯ウナッテ居ル、此意味デゴザイマシテ免角ニ商業會議所會員タラムト希望スル者ハ、營業稅ヲ多ク納ムル者、若クハ資産アル者ガ獻身のニ國家商工業ニ盡スト云フ所ノ人ト云フモノハ少イノデ、寧ロ權利ヲ得ル範圍ノ營業稅ヲ納メタ以上ハ成ルタケ其場合ニ於テ爭ウテ其會員タルコトヲ希望スル結果、殊ニ此三府五港以外ノ市ニ於キマシテ、商業會議所ノ發達ガ乏シイノデアアル、茲ニ付キマシテ此希望ヲ述ベテ置キマス、又今日序ニ此點ニ於キマシテ言葉ヲ加ヘテ置キタウゴザイマスガ、即チ全國ニ於キマシテ此會費ヲ一番少ク納メテ居ル者ハ八百五十圓或ハ六百五十圓位シカ一年ニ納メテ居ナイノデアリマス、之ヲ一箇月ニ賦課イタセバ僅ナモノデアアル、此ニ至ッテ初メテ此商業會議所ト云フ所ノ資格ヲ備ヘテ、商業會議所員ガ之ニ依ッテ活動ラシ、又努

ムルコトガ出來ルノデアラウカト云フコトニ付テハ餘程懸念サレル點デゴザイマス、又此會費ヲ怠ッテ居ル所ノ大ナル場所モ二三箇所アリマス、ソレハ甚シキニ至リマシテハ四割九分、若クハ四割五分ト云フヤウナ所モゴザイマス、斯ノ如キ結果ヲ來タスノハ詰リ商業會議所會員ノ德義制裁ノ乏シキノミナラズ、又從ッテ恆ノ產モ、又營業上ニ關スル地位ニ付テモ低イカラシテ斯ノ如キコトガ起ルノデハナカラウカト云フ點モ大ニ特別委員ニ於キマシテハ考慮ヲ要スルコトト考ヘマシタ、故ニ政府委員ニ於キマシテハ此邊ニ御注意ヲ加ヘテ下サルヤウニト云フ所ノ希望ヲ述ベマシタガ、幸ニ此點ニ付テモ容レラレタ次第デゴザイマス、先刻申上ゲマシタ通りニ農會其他諸ハユル共同組合ト云フモノハ私法人デアアルカラ強制徵收ト云フコトハ致サヌノデアアル、其必要ハナイノデアアルト云フコトハ立派ニ屢々政府委員ノ口カラ出マシタコトデアリマスケレドモ、此上ニモ今一應希望條件トシテ申添ヘテ置ク必要ガアル、處デ此私法人組織ニ關シテ居ル所ノ各會ニ於テハ目下當分ノ間決シテ此強制徵收ノ如キコトハ御實行ニ相成ラヌ次第デアアルカドウカト云フコトヲ確メマシタガ、目下ノ處ハ左様イタサヌト云フ話デアアル、是モ序ニ希望條件デアリマス、ソレカラ今一ツハ是モ或ハ老婆心ニ失スル所ノ希望カモ知レマセヌケレドモ、商業會議所ニ於テ強制徵收ヲシテ會費ヲ立派ニ納メタ以上ハ申スニ及バナイデアアラウケレドモ、ドウゾ此會費ヲ使用スル上ニ付テハ事業ノ發達若クハ實益上最モ必要ナルモノニ使ッテ貰ヒタイ、是ハ當ニ商業會議所會頭若クハ會員諸君、竝ニ政府當局者ニ於キマシテモ嚴重ニ御監督アルヤウニ願ヒタイモノデアアル、即チ初メニ申上ゲマシタ所ノ人頭割其他ニ付テノコトニモ是ハ關聯シテ居ルコトデアアルカラ、餘ホド注意ヲサレテ獎勵ヲ加ヘル上ニ於テハ、ソレハ無論勅令ノ下ニ於テ此修正案ガ這入ル以上ハ御心付ケニナルコトデアアリマセウケレドモ、尙ホ此邊ニ付テハ御注意アルヤウニト云フコトヲ希望條件トシテ申述べタ次第デアリマス、大體此度此商業會議所法改正案ヲ通過イタシマスルニ付キマシテ特別委員ト政府委員ト、是ガ折衝問答ヲ致シテ居ル所ノ要點デゴザイマス、斯ノ如ク政府ニ於カレマシテモ言明ヲ致シ約束ヲ致シタ以上ハ、必ズヤ此商業會議所法ニ對スルコトハ十分ニ注意ヲ加ヘラレ、又時勢ノ進運ニ應ゼラレル如クシテ、大ニ新面目ヲ此六十箇所以上ノ商業會議所ニ於テ表ハスデアラウト思ヒマス、付キマシテハ何卒特別委員ニ於キマシテ査定ヲ致シ協議ヲ致シマシタ所ノ此改正シタ一箇條ヲ加ヘマシテ、

此法律案ヲ通過イタシマスヤウニ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス、一言申述べマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵郷誠之助君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵高木兼寛君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、諸君ニ於テ御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス……全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ了リマシタ

○男爵高木兼寛君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○田中源太郎君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會決議通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第三、理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十七日

右特別委員長

伯爵正親町實正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 唯今議題ニ上リマシタ所ノ理化學ヲ研究スル公益法人ノ國庫補助ニ關スル法律案ニ付キマシテ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案提出ノ理由ハ本年一月頃民間ノ有志者ニ於キマシテ産業ノ發達ニ資スルタメ理化學ヲ研究シ、其成績ノ應用ヲ圖ルヲ目的トスル所ノ公益法人ヲ設立イタスト云フコトノ計畫ガゴザイマシタ、併ナガラズノ如キ大事業ニ付キマシテハ到底民間ノ資金バカリデハ不足ヲ生ズル爲ニ、竝ニ政府ニ於カレマシテ之ヲ國家事業トシテ相當ノ補助ヲ仰ギタイト云フ所ノ學者實業家ガ聯合ヲ以テ建議ニナリマシタ、此ニ於テ政府ニ於カレマシテモ慎重審議ノ末、是ハ必要ナル機關ト認メラレマシテ、本法施行ノ日ヨリ十年ヲ限リマシテ、總額二百萬圓ヲ限度トシテ、國庫カラ補助ヲ與ヘルト云フ案デゴザイマス、而シテ研究所ノ經費ハ民間ノ有志ヨリ五百萬圓ノ寄附ヲ募集スルモノト、是ニ政府ノ二百萬圓ヲ加ヘ、尙ホ其他帝室ヨリモ百萬圓ホドノ下賜ガアルト云フコトデゴザイマシテ、合計八百萬圓ノ資金ヲ以テ此研究所ガ成立ツ譯ダサウデアリマス、抑、斯ノ如キ機關ハ業ニ已ニ設立ヲ必要トスルノデアリマスガ、併ナガラ氣運ノ未ダ熟セザル爲ニ今日マデ設立ヲ見ナカタノデアリマス、然ルニ今日歐洲大亂ノ刺戟ヲ受ケマシテ、爲ニ最早一日モ猶豫スベカラズト云フコトニナツテ、遂ニ今日此設立ノ機會ヲ得タ譯デゴザイマス、右様ノ譯デアリマスニ依ツテ、委員會ニ於キマシテモ、誠ニ是ハ目下必要ノ機關デアルト云フ所デ、大ニ賛意ヲ表シタ譯デアリマス、併ナガラ事柄ハ誠ニ結構ノコトデアルケレドモ、此案ノ内容ニ付テハ不備ノ所モアルカラシテ、此點ニ付テハ色々質問モアリ、又意見モ出マシタノデゴザイマス、其重ナルコト

ハ二箇條デゴザイマシテ、其一ハ第一ニ此所管ハ文部大臣デアアル、是ハ過日此本議場ニ於キマシテモ出マシタモノデアリマスカラ、詳シク申上ゲル必要モゴザイマセヌガ、詰リ此學術研究所ヲ拵ヘルト云フコトデアルカラ、是ハ官制ノ命ズル所ニ依テ文部大臣ノ所管デナクチャナルマイ、又少クモ文部農商務兩大臣ノ所管ニ屬スルト云フコトガ適當デアアル、之ヲ農商務大臣ノミノ所管ニスルト云フコトハ是ハ官制違反デヤナカラウカト云フノガ一ノ論デゴザイマス、今一ツハ此產業ノ發達ニ資スル爲ニ理化學ヲ研究スルト云フコトデアルカラ、是ハ廣義ニモ亦狹義ニモ解釋ガ出來ルノデ、我々ハ成ルベク是ハ廣義ニ解釋シテ、サウシテ成ルベク學理ノ根本ニ涉ッテ廣ク研究スルコトニ致シタイト思フ、然ルニ過日來農商務大臣ガ衆議院ニ於テ説明セラルル所ヲ見ルト、ドウモ狹義ノ解釋ヲ執ッテ居ラレルヤウデアアル、成ルベク此產業ノ發達ニ資シテ……產業ニ關係シテ唯是ノ應用ヲ計ルト云フコトニ重キヲ置カレマシテ、學理ノ根本ニ涉ッテ研究スルト云フコトニハ甚ダ意味ガ乏シイヤウニ考ヘラレマスカラ、ソレデハ甚ダ斯ノ如キ機關ヲ設ケラレルモ如何デアアルニ依ッテ、成ルベク是ハ學理ノ根本ニ涉ッテ、廣ク學理ヲ研究スルコトニ致シタイト存ジマス、此點ニ付テハ當局ノ考ハ如何デアアルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテ農商務大臣又政府委員ヨリ懇篤ナ答辯ガゴザイマシタケレドモ、委員ニ於キマシテハ、マダドウモソレヲ以テ満足ヲ表スル譯ニ行カヌト云フ所カラ、種々協議ヲ盡サレマシタノデアリマス、其結果遂ニ農商務大臣ヨリ此所管ノコトニ付テハ尙ホ考慮ヲ致シテ見ヤウ、ソレカラ研究ノ範圍ニ於テハ成ルホド御説モ御尤デアルカラ、成ルベク是ハ廣義ノ解釋ヲ執ッテ根本ノ學理ヲ能ク研究スルト云フコトニ考ヘヤウト云フ言明ガゴザイマシテ、茲ニ於テ委員モ農商務大臣ノ言明ヲ信用イタシテ、此案ハ然ラバ此儘ニ可決スルコトニ致サウト云フコトデ、遂ニ全會一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス大略ヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵正親町實正君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵郷誠之助君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 異議ハナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異存ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵正親町實正君 直チニ第三讀會ヲ開クコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際諸君ニ申上ゲタイコトハ、本日ハ唯今簡易生命保險法案ノ兩院協議會開會中デモゴザイマスシ、豫算委員會モ開會中デ、未ダ報告ニ接シマセヌ、其他重要ナル法案ノ特別委員會モ開會中デゴザイマスカラ、議事ノ都合上此際休憩ヲ致シマス、午前ハ會議ハ開キマセヌ考デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス、而シテ本日ハ御承知ノ通り最終日デゴザイマスカラ、成ルベク御退院ハ御見合セヲ願ヒマス、イツ何時本議場ヘ御出ヲ願フカモ知レマセヌカラ、其點ハ御含ミヲ願ウテ置キマス

午前十一時五分休憩

午後一時四十二分開會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔長谷川試補朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ政府提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ同付セリ

商業會議所法中改正法律案

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

壯丁稅法案外一件特別委員會

委員長 子爵山口 弘達君

副委員長 男爵村上 敬次郎君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

日支銀行法案否決報告書

滿洲銀行法案否決報告書

本日兩院協議委員會議長ヨリ左ノ兩院協議會成立報告書ヲ提出セリ

簡易生命保險法案兩院協議會成立報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ……

〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) マダ開會ノ宣告ヲ致シマセヌ、是ヨリ午前ニ引續キマシテ開會イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 此際日程ヲ變更セラレマシテ、日支銀行法案外一件ノ第一讀會ノ續ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵吉井幸藏君 贊成

○子爵岡部長職君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 唯今柳澤伯爵ヨリ議事日程ヲ變更イタシマシテ日支銀行法案、滿洲銀行法案ノ第一讀會ノ續、委員長報告ヲ致サレタイト云フ趣デアリマス、此動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ日支銀行法案竝ニ滿洲銀行法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

日支銀行法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十八日

右特別委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵柳澤 保惠

滿洲銀行法案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十八日

右特別委員長

伯爵柳澤 保惠

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 日支銀行法案外一件特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報道申上ゲマス、此委員會ハ數回ニ互リマシテ先キホド決了イタシ、否決ニナリマシタ、其大體ヲ是カラ經過ヲ申上ゲマス、此案ハ便宜上兩案トモ東ネテ申上ゲルヤウニシヤウト思ヒマス、此兩案ハ先般本議場ニ於カレマシテ大藏大臣ヨリ御説明ガゴザイマシタ、委員會ニ於キマシテモ之ヲ敷衍セラレマシテ、兩回ニ互リ最モ詳密ニ兩銀行設立ノ必要ヲ述べラレ、兩案ノ通過ヲ切望セラレマシタノデアリマス、尙ホ本日ハ大隈内閣總理大臣竝ニ外務大臣モ出席セラレマシテ、懇談會ノ形ニ於キマシテ縷々此案ノ通過ヲ希望セラレタノデアリマス、又懇談會ノ席上ニ於テハ委員ヨリ種々質問モゴザイマシタガ、ソレハ懇談會ノコトデゴザイマスカラ、此ニ御報告ハ略シマス、此兩案ニ付キマシテハ諸君ノ御聽ノ通り又速記録ニ詳細ゴザイマス通りニ、要シマスルノニ日支銀行法案ハ今日日支ノ交際竝ニ關係ガ益々親善ナルニ隨ヒマシテ茲ニ種々經濟上ノ密接ノ連絡ヲシナケレバナラス必要ガ益々起ツテ來タ、併ナガラ不幸ニシテ唯今ノ所デハ日支間ノ經濟上ノ借款ニ應ズベキ所ノ有力ナル機關ガナイ、經濟的借款デアリマス、斯ノ如キ所ノ闕陷ノアルノハ誠ニ遺憾デアル、今日尙ホ其時勢ノ必要上カラシテ日支銀行ヲ設立シテ彼我ノ經濟上ノ便益ヲ圖ルト同時ニ、多々アリマスル所ノ經濟的借款ニ應ジタイト云フノデアリマス滿洲銀行法案ノ方ハ多少之ト趣ヲ異ニシテ居リマス、併ナガラ日支條約ノ結果滿蒙ニ於ケル所ノ我が特有ノ利權ヲ獲得イタシマシタニ依リマシテ、之ヲ活用スルニハ矢張り茲ニ一大機關ヲ要スル……金融的機關ヲ要スルト云フノデアリマスガ、要スルニ此方ニ於キマシテハ寧ロ土地ニ重キヲ

置イテ不動産抵當ノ長期ノ貸借關係ヲシタイ、即チ日支銀行ノ方ハ經濟的借款ニ重キヲ置キ、此滿洲銀行ノ方デハ土地抵當ト云フ特殊ノ目的ヲ遂行スルニ付テニツノ銀行ヲ設ケタイト云フノデアリマス、日支銀行ノ方ハ御覽ノ如クニ日支共通ノ出資ニナツテ居リマス、併ナガラ是ハモウ俗ニ申シマスル合辦組織デハゴザイマセヌ、日本ノ法律ニ依リマスル所ノ日本ノ會社デアリマシテ、總テ出資ハ日支ニ依リマスケレドモ、強チ支那側ノ承諾ヲ得ナケレバナラヌト云フ必要ハナイノデアリマス、且ツ日本ノ資本家ノ力デモ能ク立チ得ル所ノ銀行デアリマス、日支合辦トハ違フノデアリマス、此説明モ十分ニゴザイマシタ、次ニ委員會ニ於キマシテハ大藏大臣竝ニ參政官ノ説明後、第一ニ起リマシタ所ノ質問、殊ニ其質問ハ數回ニ互リマシタガ、即チ日支ノ交渉如何ト云フコトデゴザイマス、即チ事ハ荷モ鄰國ニ關係スルコトデアルカラ、此銀行設立ニ關シテハ公式或非公式ニ交渉ガアッタカ否ヤ、或ハ銀行設立ノ大體ニ付キマシテ、此銀行ノ組織其他具體的ノコトニ付テ交渉ガアッタカ否ヤ、若シ公式ノ交渉ガナカッタナラバ非公式ニ交渉ガアッタカ、或ハ非公式ト言ハズシテ何カ懇談的ノ相談ガアッタカドウカ、此質問ハ委員諸君ヨリ屢出マシタ質問デアリマス、殆ド此質問ガ此兩案ノ委員會ニ於キマスル所ノ大部分ヲ占メタノデアリマス、ソレニ對スル當局者ノ答辯ハ一言以テ盡シマスケレバ、公式ヲ以テシタコトハナイ、非公式ニモナイ、先ヅ懇談的ニ話ヲシタコトハアル、併ナガラソレモ相當ノ資格ヲ有テ居ル人ガ相當ノ時機ニ話合ッタ譯デモナクテ、唯便宜ノ場合ニ懇談的ニ話ヲシタコトガアル、況ヤ内容ニ付テ具體的ニ此法律ノ案ニ付テノ交渉等ハ少シモナイト云フコトデアリマシタ、而シテ此日支銀行ノ設立ニ關シテハ、既ニ明治三十六年頃ヨリ日清銀行ノ設立ノ話モアッタ位デ、今日ニ於テ新ニ出タコトデナイ、其時分カラ折ニ話ガアリ、又中華民國ニナツテカラモ之ニ付テノ話モ出タト云フコトデアリマス、ケレドモ何レモ斷片的ノ話デアツテ連續的ノ話デナイト云フコトニ私共ハ承知ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、ソレハ如何ニモ支那側ノ方デハサウ云フ交渉ヲ受ケナカッタカ知ラヌガ、兎ニ角ハハ支那ニ關スルコトデアリマスカラ、是非トモ今御話申上ゲタ方法以外ニ何カ又意思ノ疏通デモアッタカト云フコトモアリマシタ、隨分根掘リ葉掘リ質問ガアリマシタガ、更ニサウ云フコトハナイ、唯支那側デ合辦組織ノヤウナ風ノ銀行組織デハアルケレドモ、支那カラ別ニ補給ガアル譯デナイ、支那

政府ヲ煩ハスコトモナイカラ、此點ニ付テハ單ニ日本ノ會社トシテ組織シテ足リルノデアアル、ソレガ此交渉ニ關スル所ノ御質問及答辯ノ大要デゴザイマシタ、ソレカラ細カイ質問ニナリマス、東洋拓殖會社ガ或ハ滿洲地方ニモ手ヲ伸バスヤウナ契約ガアル、此場合ト滿洲銀行ノ關係ハドウデアアルカ、又其場合ニハドウ云フ影響ガアルノデアアルカ、又現ニ滿洲ニ存在シテ居ル所ノ種々ノ銀行ガアル、ソレ等ノ關係ハドウデアアルカ、又日支銀行ニ付キマシテハ矢張り日本ノ種々ノ銀行ガ支那本部ノ方面ニ活躍シテ居ルガ、是等ニ影響ガアルヤ否ヤト云フ質問ガアリマシタ、當局者ハソレニ付キマシテ成ルホド滿洲竝ニ支那ニ於テハ左様ナ事實モアルケレドモ、何レモ銀行其モノノ業務ガ此度提出シタ所ノ日支銀行竝ニ滿洲銀行ト性質ヲ異ニシテ居ルノデアアルカラ、此支那ノ銀行ノスルヤウナ仕事ハ出來テ居ラス、又出來ルヤウナ場合デハナイト云フコトデアリマシタ、サウシテ支那ニ於キマスル所ノ外國ノ諸銀行ノ實例ヲ話サレマシテ、又支那カラ日本ノ方ノ各會社ガ、例ヘバ中日實業公司或ハ東亞實業會社ト云フヤウナモノニ對スル所ノ借款申込高ナドヲ述ベラレマシテ、斯様ニ日本ニ向ッテ多大ノ需要ヲ有テ居ル、而カモ日本ハ諸外國ニ比シテ優越ナル地位ヲ占メテ居ル場合デアアルニ、斯様ナ多大ノ金額ニ對シテ融通スル途ノナイト云フノハ誠ニ遺憾デアルト云フ實際ノ狀況ノ御話ガアッタノデアリマス、大體委員會ニ於キマスル所ノ御質問竝ニ政府ノ答辯ノ要領ハ斯様デアリマス、其條文ノ細カイ所ノ質問ハ僅ニ一委員ヨリ補給ニ付テノ御質問又債券發行ニ付テノ御質問ガゴザイマシタゲデ、他ニハ一モ條文ニ付テハゴザイマセヌ、委員會ニ於テハ慎重ニ之ヲ考慮シタ後ニ、本日ニ至リマシテ之ニ付テ可否ヲ決スルコトニナリマシタ、其結果ハ少數ヲ以テ此原案ハ否決ニナツタノデアリマス、今委員會ニ於キマスル所ノ贊否兩方ノ側ノ御意見ノ大要ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、贊成側ノ意見ヲ申述べマスルト、詰リ速記録ニゴザイマスル所ノ政府委員竝ニ當局大臣ノ御説明ノ要領ト云フヤウナモノデアリマス、併ナガラソレヲ簡單ニ申上ゲマス、簡單ニ申上ゲマスレバ贊成說ノ一ハ日支ノ今日ノ親密ノ狀況ヨリ論ゼラレマシテ、經濟上殊ニ近接シナケレバナラヌ地位ニアルト云フコトヲ述ベラレマシタ、而カモ支那ニ於ケル所ノ日本ノ種々ノ原料品、商品ナドノコトヲ述ベラレマシテ、ドウシテモ茲ニ一大金融機關ノ必要ガアル、外國ノ例ヲ述ベラレマシテ又現今ニ於テ米支銀行設立ノ話ナドモ言ハレマシタ、斯ノ如キ譯デアアルカラシテ到底今日支那ニ

於ケル所ノ正金銀行或ハ臺灣銀行、或ハ東亞興業會社、中日實業公司ト云フヤウナモノノ力デハ到底優越ノ地位ヲ占メルダケニナラヌカラ、是非斯ウ云フ所ノ必要ガアル、況ヤ明治三十六年ヨリ日清銀行ノ發案モアッタ位デ、此必要ニ付テハ當局者ハ年來調査シ、又一步ヲ進メテ東京或ハ京阪地方ノ實業者ニモ相談シテ此事ヲ調査シタルデアル、何レモ其答案トシテハ政府ノ案ヲ可トスルト云フコトデアル、尙ホ滿洲ノコトニ付キマシテハ正金銀行ノ滿洲ニ於ケル所ノ狀況ヲ話サレマシテ、到底長期ノ貸附ヲスル便宜ヲ十分有テ居ラヌ、又嘗テ日本興業銀行モ長期貸附ヲ試ミタコトモアッタガ、是モ十分ノ働ガ出來ヌ、故ニドウシテモ特殊ノ滿洲銀行ノ設立ノ必要ガアル、又朝鮮銀行ノコトモ言ハレマシタガ、是ハ謂ハユル債券ヲ發行スル銀行、發券銀行デアツテ、是モ十分ノ働ガ出來ナイ、ソレカラ東拓會社ノコトモ述ベラレマシテ、東拓會社ハ移民ノ仕事ヲスルノデ、強チ金融事業ノミヲ専門ニスルコトガ出來ナイ、是ガ滿洲ニ於ケル所ノ銀行ノ働ハ果シテ滿洲銀行ノ如キコトハ出來ナイト云フコトデアル、ソレカラ尙ホ調査ガ不十分ダト云フコトヲ反對者ハ言フガ、決シテサウハ思ハナイ、今ノ如キ所ノ年來ノ調ト年來ノ諮問トノ結果モアルコトデアルカラ、決シテ調査ハ不十分トハ言ヘナイ、又法案ヲ見テモドノ箇條ニモ闕點ガアルト云フコトモ見出セナイ、故ニ之ヲ他日ニ讓ル場合ニモ是レ以上ノ名案ハナイト云フコトデアリマシタ、ソレカラ尙ホ支那人ノ感情問題ニ付テモ述ベラレマシテ、決シテ是ハ現今支那人ノ感情ガ十分ニ良イトハ申サレヌケレドモ、併ナガラ經濟上殊ニ密接ノ關係ノアルコトヲ自覺スル以上ハ、支那人ト雖モ此必要ヲ感ズルデアラウト云フヤウナ話モ言ハレマシタ、ソレカラ日支銀行並ニ滿洲銀行トモ是ハ支那側ニ對シテハ交渉ハ更ニナイガ、交渉ヲセヌデモ是ダケ支那ノ利益ト云フコトガアルカラ是モ差支ナイト云フ御意見デアル、時機ハ今日ガ一番宜シイ他日デハイカナイ、今日ハ殊ニ歐洲戰亂ノ際デアルシ、日本ノ正貨モ隨分膨張シテ居ル場合デアルカラ、今日ノ時機ヲ措イテ他ニハ斯ノ如キ銀行ノ設立ヲ求メルコトハ出來ナイ、今日ハ最モ好イ時機デアルト云フコトデアリマシタ、是ガ先ヅ大體賛成論者ノ御意見ノ大要デアリマシテ、要スルニ政府當局ノ言ハレタコトト餘リ違ヒハナイノデアリマス、之ニ對シテ賛成者モゴザイマシタ、詰リ一委員ノ説ト同様ノ説デアリマスガ、其中ノ一ハ滿洲ニ於ケル所ノ銀ノ相場ハ變動ガアル、隨分此變動ノ爲ニハ損失スルコトガナカ／＼多イ、斯様ナ所ノ滿洲ニ於テ一

ノ一大銀行ヲ造ツテ之ヲ日本ノ貨幣本位金貨本位ニシテ十分ニヤッタナラバ彼ノ北滿ニ於ケル所ノ露貨ノ「ルトブル」ガ標的トナツテ非常ナ變動ヲ防イデ居ルノト同ジヤウナ好結果ヲ得ルデアラウト云フコトヲ述ベテ賛成ニナリマシタ、尙ホ一名御賛成ニナリマシタ、ソレカラ反對論者ノ二名ノ御方ガ御發言デアリマシタ、私ハ甚ダ其反對論ノ説ヲ申上グルノハ委員長モ餘ホド云ヒ惡イ、氣ノ毒ニ感ジテ居リマス、何トナレバ反對論ト云フモノハ形式ニ於テデアツテ、實質ニ於テハ皆賛成デアアル、賛成ダガ反對ト云フ御説ガアリマシタノハ、甚ダ私ドモハ異様ニ感ズル反對論デアリマス、私ハ有ノ儘ニ反對論ノ説ヲ玆ニ申上ゲマス、ソレハ一反對論者ノ説ハ、本案ノ趣旨ハ賛成デアアル、少シモ否決論デアリナイ、併ナガラ總理大臣及外務大臣ノ懇談會ニ於ケル所ノ説ヲ聞イテ見ルト、ドウモ不統一ノ點ガアル、併ナガラ一方一員ノ賛成論ヲ聞イテ見レバ、是ハ政府委員以上ノ説明デアツテ十分盡シテ居ル、誠ニ能ク賛成ノ趣意ヲ盡シテ居ル、故ニ自分ハ全部ヲ賛成スルニ躊躇シナイノデアアル、躊躇シナイガ、ドウモ精神ガ甚ダイカス、精神ト調和トニ足ラザル所ガアル故ニ反對スルト、斯ウ云フノデアリマス、例ヲ述ベラレマシテ、是ハ恰モ龍ヲ畫イテ眼ニ睛ヲ入レナイノデアアル、睛ガ入ッテ居レバ完全無闕デアアルガ、睛ガナイ爲ニ、此場合ドウモ精神ト調和トノ足ラヌ所ガアルト云フ御説デアリマシテ、龍ヲ畫イテ睛ガナイト云フ趣意ヲ以テ賛成デアアルガ反對デアアルト云フコトデアリマシタ、ソレカラモウツノ反對論ハ、是モ本案ノ性質ハ誠ニ結構デアアル、反對スル所ハナイ、併ナガラ之ヲ會期切迫ノ際デアアルノニ十分ニ自分共ガ慎重ニ研究スルコトノ出來ヌノハ誠ニ遺憾ト致シマス、ドウゾ慎重研究スル餘地ヲ御與ヘ下サレタイ、慎重ニ研究スル餘裕ガナイト……慎重ニ考慮スル餘裕ガナイト云フ御言葉ヲ以テ之ヲ延期スルト云フ意味ニ於テ否決シタイ、斯ウ云フノデアリマス、何レモ反對ノ御論ヲ伺ヒマスルト、趣意ハ賛成ダガ、今ノ場合デドウモ賛成ガ出來ニクイト云フ、私共聞イテ甚ダ不明瞭ニ伺ツタ反對論デアアルガ、兎ニ角反對デアリマス、ソレデ尙ホ採決ノ結果原案賛成ハ不足デアリマシテ、遂ニ兩案トモ否決ニナリマシタノデアリマス、之ヲ以テ委員長ノ報告ハ終リマス、尙ホ引續イテ私ハ此際意見ヲ述ベタイト思ヒマス……是ハ例ハアリマスガ、併ナガラ議長ガ止メラレマシタカラ、又後ニ自分ノ意見ヲ申上ゲマス

〔若槻禮次郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 若槻禮次郎君ハ御意見デアリマスカ

○若槻禮次郎君 意見ヲ述ベタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○若槻禮次郎君 會期切迫シテ居リマス場合、尙ホ重要ナ議案ノ審議セラルベキモノモ大分多イ場合ニ於キマシテ、私ハ成ルベク沈黙ヲシテ、賛成ノ案ニハ賛成ヲシ、反對ノ案ニハ唯之ニ賛成ヲ表セナイト云フコトデ、成ルベク早く議事ノ進行ニナルヤウニ致シタイト云フ考デアッタノデアリマス、然ルニ唯今問題ニナッテ居リマス重要ナ議案ニ付テ……此議案ニ付テハ唯今委員長ノ御報告ヲ御聞ニナッテ御承知ノ通り、反對セラルル方モ事實ハ賛成デアルト云ッテ居ラレマスノデアリマスカラ、殆ドドナタモ此案ニハ御反對ノ意味ハナイ事柄デアラウト思ヒマス、其如キ皆御同情ヲ有ッテ御出デニナル議案ニ付テ委員會ガ否決セラレタト云フコトヲ見マスルモ甚ダ之ヲ遺憾トシ、誠ニ此大切ナ時間ヲ私ハ暫ク此デ拜借イタスト云フコトハ誠ニ宜シクナイコトハ存ジマスケレドモ、一言申上ゲマセスケレバ、何故ニ斯様ナコトニ相成ルカト云フコトガ十分ニ國民ニ徹底シナイト存ジマスカラ、此場合簡單ニ私ハ原案ニ賛成シテ委員會ノ御否決ニナッタト云フコトハ甚ダ理由ガナイト云フコトヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、唯今委員長ハ委員會ニ於ケル一員ノ述ベラレタ意見ハ是ミデアルト云フ御報告ニナリマシタ、共一員ト云フノハ詰リ私ノ述ベタコトヲ御指シニナッタコトト思ヒマス、付テハ今御述ニナッタ所ヲ悉ク繰返シテ申上ゲテ、十分私ノ趣意ノアル所モ申上ゲタイノデアリマスカ、今申上ゲル通り大切ノ時間ノコトデアリマスカラ、委員長ガ既ニ私ノ意見ヲ取次イデ御述ベ下サレタ以上ハ、重複シテ其點ニ付テ申上ゲマセヌノデアリマス、唯委員會ニ於テ私ハ今日ノ日支關係ノ親善ハドウシテモ保ッテ行カナケレバナラス、又保タレタコトデアアルガ、之ヲ益々親密ニスルニハ經濟關係ヲ十分ニ密接ニナラシメナケレバナラス、經濟關係ヲ密接ナラシムルニハ經濟上日本ハ支那ニ於テ仕事ヲシテ、支那人ガ日本ノ經濟上ニ頼ルト云フコトニ一番大切ナ便利ナ所ノ此金融機關ヲ設ケナケレバナラス、サウ云フヤウナ趣意カラ段々申上ゲタノデアリマシタガ、委員會デハソレニ付テハ一向御反對ハナカッタノデアリマス、御反對ノナイノミナラズ唯今委員長ノ御申述ニナッタ通り、委員長スラモ此所デ報告ヲナサルノニ御困難デアルト云フヤウナ理由ヲ以テ

此問題ハ否決ニナッタノデアアル、此所ガ誠ニ私共ノ分ラヌト云フ點デアリマス、總テ今申上ゲマシタヤウニ根本ノ理由ハ皆サンモ御了解下サレタモノト思ウテ、ソレハ省キマシテ、唯今日ハ此法案ヲ成立サスニハ適當ナ時機デアルト云フコトヲ簡單ニ自分ハ申述ベテ置キタイト思ヒマス、金融機關ガ關ケテ居ル、此金融機關ガ關ケテ居ルガ爲ニ、日本ガ支那トノ經濟上色々發展シテ行クニ不便デアアル、又支那人ガ日本ノ經濟力ニ依頼シテ自分ノ經濟ノ力ヲ延バサウト云フニモ日支ノ金融機關ガ出來テ居ッタナラバ、大變便利デアッタノデアアル、併シ之ナイガ故ニ非常ニ不便デアルト云フ、其事柄ヲ感ズルコトハ、私ハ今日ホド痛切ニ感ズルトキハナイノデアラウト思フノデアリマス、歐羅巴各國ハ先キホド御聞ニナリマシタ通り、各支那ニ對シテ特ニ支那ヲ目的トシテ銀行ヲ設ケテ頻ニ支那ニ投資スルヤウニシテ居ルノデアアル、英吉利ニシテモ、佛蘭西ニシテモ、獨逸ニシテモ、露西亞ニシテモ、皆各支那ダケヲ目的トシタ所ノ銀行ヲ建テテ居ル位デアリマスカ、今日ハ是等ノ銀行ノ方ノ働ハ平生ヨリモドウシテモ鈍ッテ居ルノデアアル、其鈍ッテ居ルト云フノハ御承知ノ通り歐羅巴ノ戰サデ歐羅巴ノ經濟ガ御承知ノ通りノ狀態デアリマスカラ、是等ノ銀行ハ十分ニ働クコトガ出來ヌノデアリマス、支那ハ今一番ココデ支那自身ガ經濟上ニ付テ段々改良ヲシテ行カナケレバナラス 必要ニ迫ッテ居リマスカラ、色々ノ資金ヲ要スル時デアアル、歐羅巴ノ金融機關ガ働イテ居リマシタナラバ、ソレ等カラ資金ノ融通ヲ受ケルコトガ出來ルカ知レマセヌガ、唯今申上ゲルヤウナ情況デ、此働ガナイカラ何處カ代リノモノガナケレバナラス、支那デモ必要ヲ感ジテ居ルトキデアアル、又日本カラ申セバ斯様ナ外國ノ銀行ノ働カヌトキニ日本ノ方ニ經濟機關ヲ造ッテ働カシメタナラバ、同ジク金融機關ヲ造ルニ付テモ働イテ往クニ付テモ最モ働キ易イ時機ハ今日デアラウト思フノデアリマス、ノミナラズ此戰爭ノ後トニ於テ、戰爭ガアリマセヌデモ日本ノ如キ新進國ハ新ニ市場ヲ開發モスレバ、新ニ市場ヲ見附ケ出シテ大ニ經濟上ノ發展ヲシ、而シテ今日債務國デアアル國ガ相當ニ正貨ヲ取ッテ來テ兌換券ノ制度ノ基礎ヲ固メテ往カナケレバナリマセヌ、其必要ヲ認メテ居ル日本ガ今日ニ於テ、今後講和後ノ當初ニ於テ、最モ大切ナトキデアラウト思フノデアリマス、而シテ其市場ノ一番大切ナモノト言ウテ宜イモノガ支那ノ市場デアラウト思ヒマスガ、此所ニ於テ日本ガ經濟上ニ働カウト思フナラバ、此時局ノ間竝ニ時局ノ終ッタ當分ノ所ガ一番大切ナルトキデアアル、其働ヲ

スルノニハ金融機關ガアルト云フコトガ是ガ又最モ大切ナコトデアリマシテ、働ヲセムトシテモ金融ヲ附ケルモノガナケラネバ經濟上ニハ何モ働ガ出來ヤウガナイノデアリマス、此働ヲセナケレバナラヌ所ヲ目前ニ控ヘテ居ッテ、是マデ金融機關ノ關ケテ居ル所ヲ今政府ガ發案ヲセラレテ此金融機關ヲ附ケヤウトシテ居ル、今ガ此銀行ノ成立ヲ協賛ヲ致サナケレバナラヌ一番大切ナトキデアラウト思フノデアリマス、其大切ナトキニ何故ニ本案ガ否決セラレルカト云フコトヲ伺ヒマス、龍ヲ畫イテ晴ヲ點ゼヌヤウナモノデアアル、殆ド謎ノヤウナコトカ、然ラザレバ會期ガ切迫シテ居ッテ十分考ヘルコトガ出來ヌト云フ御考ニ外ナラヌノデアリマス、十分考ヘルコトガ出來ヌト云フ位ノコトト、日本ガ今後大ニ發展シテ往カネバナラヌ此大切ナル金融機關デアアル、之ヲ茲デヤッテ置カナケレバ大切ナトキニ臨ンデ他國ガ殆ド準備シテ此場合ニ臨マナケレバナラヌト云フ其事柄ト比較セラレテ、ソレデモ是ハ延期スルノガ必要デアアル、否決スルノガ必要デアアルト云フ其御論ハドウシテモ出ナイデアラウト思フノデアリマス、此大切ナトキニ於テ此法案ヲ議スル、其理由ヲ政府ノ説明ニ依ッテ一通リ我々ガ了解イタシマシタ以上ハ、會期ガ如何ニ切迫シテ居リマセウトモ、ソレニ向ッテ判斷ヲ下シテ、此大切ナル機關ノ成立ヲ助ケルト云フノガ貴族院……御互ノ是ハ務デアルヤウニ考ヘマスノデ、御反對ニナッテ理由ガ甚ダ私等ニハ了解ガ出來ヌノデアリマス、其御反對ノ理由ノ中ニハ或ハ調ガ十分ニ行届イテ居ナイト云フヤウナ御考モアルカノ如ク私カニ拜察イタサレルノデアリマスガ、唯今委員長ノ御申述ニナリマシタ通り日支ノ金融機關ヲ造ルト云フノハ、ズット以前カラアルコトデアリマスケレドモ、現ニ政府ガ法律案ヲ起草シテ議會ニ提出シタノガ明治三十六年カラデアリマスカラ、之ヲ具體ノ案トシテ世間ノ問題トシタコトガ既ニ二十三年前ノコトデアアル、ソレカラ其法案ハ其時ニハ機ガ熟セズシテ成立ハ致シマセナカッタケレドモ、其成立ヲ致サナカッタ事情ニ付テハ十分分ッテ居リマスカラ、其後累代ノ政府ト云フモノハ此金融機關ノ事柄ニ付テハ十分考ヘテ居ラレタノデアリマス、考ヘテ抛ッテ置イタノデハナイ、是ガナイ以上ハ外ノ機關ヲ利用シテ成ルベク日支銀行ノ働ノヤウナモノヲサセヤウト云フノデ、十何年ノ間今日マデ來テ居ッタノデアリマスカラ、政府ニ於テモ民間ニ於テモ日支金融機關ノコトニ付テハ十分考慮ヲ盡サレテ居ルト言ッテ宜イノデアリマス、唯色ミノ機關ヲ利用シヤウトシテ來タケレドモ、結局ニ於テ現存シテ居

ル機關ダケデハ十分デナイト云フコトヲ認メテ今回發案セラレタ、現存シテ居ル金融機關モ無論大努力ヲシテ居ルノデアリマス、正金銀行ニシテモ臺灣銀行ニシテモ餘ホド支那ニ於テハ働イテ……活動シテ居ルノデ、此活動ニ對シテハ私共ガ常ニ大ニ感謝ノ意ヲ拂ッテ居ルノデアリマスガ、此活動ハ今後ト雖モ無論シナケレバナラヌ、無論シナケレバナラヌケレドモ、併ナガラ十何年ノ經驗ニ依レバソレノミデハ到底足リナイト云フコトガ今日世間モ要求シ、政府モ其必要ヲ認メ、衆議院モ亦其必要ナルコトヲ認メテ茲ニ滿洲銀行日支銀行ノ法律案トナッテ、皆様ニ御協賛ヲ受ケムトシテ居ルヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、調査ガ不十分ナドト云フコトハ決シテ是ハ言ハレル事柄デハナイト思フノデアリマス、法文自體ハ是ハ前例ノアルコトデアリマシテ、凡ソ金融機關ヲ造ルトスレバ……特殊ノ金融機關ヲ造ルトスレバ其目的タル營業ノ科目ハ少々違フカ知レマセヌガ、大體ノ法文ノ書き方ニ於テハ前例ハ殆ド似テ居ルノデアリマス、今後若シ日支銀行、滿洲銀行ノ法案ガ今日成立シナイデモ、併ナガラ再ビ出サレルト云フヤウナ場合ガアッタナラバ、私ハ唯今出テ居ル案トハ大ニ違フカト云フト、私ハ大ニ違フトハ思ハヌノデアアル、之ヲ以テ進ムノ外サウ變ッタ案ノ立テヤウガナイト思ヒマス、サウ云フ工合ニ先例ノアッテ是ヨリ以上大シタ違ッタコトガ出來ヌト云フコトハ極ッテ居ル、而シテ前途ニ斯様ナ機關ヲ有ッテ居ッテ進マナケレバ、今後日本ノ經濟力ヲ外國ニ發展サセル、殊ニ大切ナル支那ノ市場ニ於テ發展サセルト云フコトニハ遺憾ガ多イト云フコトヲ目前ニ見テ居ル以上ハ、此ニ至ッテ調査ガ不十分デアルカ……十分デアルカノ如キ、又ドウモ能ク會期ガナクテ分ラヌト云フ御理由デ之ヲ延バスト云フコトニナッタノデハ、ソレデハ餘リニ此大切ナル案ニ對スル判斷トシテハ私共ハ遺憾ニ堪ヘナイト思フ次第デアリマス、又中ニハ今日ハ時機デナイ、色ミナ關係ニ於テ今日之ヲ實施スルト云フコトハ時機ヲ得ナイト云フ御考ノ御方ガアルヤウデアリマスガ、其日本ノ側竝ニ支那ノ側デ是ガ時機デアアルコトハ勿論ノコトデ、唯今申上ゲタ通りデアリマスカラ、支那人モ大ニ是ハ歡迎スル案デアアルト思フノデアリマス、ドウセ支那人ノ事業ノ開發ナルモノニハ資金ヲ要スルノデアアル、其資金ハ何レノ處カラ支那人ハ之ヲ求メテ來ナケレバナリマセヌガ、歐羅巴カラ供給ヲ受ケルト云フコトガ少クナッテ、今日デハ其以外カラ供給ガ受ケラレマシタナラバ、支那人ハ喜ンデ之ヲ受ケルト云フコトデアリマセウト思ヒマスカラ、支那人ガ何カ

斯様ナ案ヲ受取ルニ付テ今日ハドウモ不便ナル時デアルト云フ御意見ガアルナラバ、私ハ分ラナイ議論デアルト思フノデアリマス、日本人自身ガ左様ニ自ラ考ヘテ遠慮スル必要ハナイト思フノデ、日本ノ側ニ必要ガアリ大抵支那人モ之ヲ歡迎シナケレバナラス形勢ガアル以上ハ、其以上ノ遠慮ヲスル必要ハナイ、大切ナ機關ハ此場合ニ造ラルルガ宜イト思フノデアリマス、殊ニ會社銀行等ヲ起スニ付テ矢張り内地ニ於テモ應募スルノニ資金ノ潤澤ナルトキガ都合ガ好イノデアリマスガ、其側カラ申シマシテモ今日ハ内地ノ金融緩慢ナルトキデ、斯様ナ株式募集：銀行ノ設立ニ付テ株ノ募集デモスレバ一番好イ時機ハ今日デアルト思フ、内ノ都合カラ言ッテモ外ノ都合カラ言ッテモ、今日ハ實ニ逸スベカラザル好機會ト思フノデアリマスガ、其好機會ナルニモ拘ラズ、誠ニ委員長カラ御報告ナサルニモ御困難ヲ御感ジニナッタヤウナ理由ニ依ッテ此案ガ成立シナイト云フヤウナコトガアリマシタナラバ、國家ノ爲ニ私共ハ非常ニ遺憾トスル次第デアリマスノデ、委員長ハ詳細ニ御述べ下スツテ、更ニ私が申述ベル必要ハナイヤウナコトデアリマスガ、餘リニ案ガ重大ニシテ、其重大ナ案ヲ餘リニ今ハ簡單ニ否決ヲセラレムトスルヲ見テハ、如何ニモ憂慮ニ堪ヘマセスカラ、甚ダ貴重ノ時間デゴザイマスガ、一言是ダケノコトヲ述ベマシタ次第デゴザイマス、ドウゾ十分此邊ヲ御考慮下サイマシテ、此二ツノ法案ガ此議會ニ於テ是非成立スルヤウニ御協賛ニナリタイト思ヒマス、私共貴族院ノ一員トシテ此事ヲ切ニ希望スル次第デゴザイマス

○男爵高橋是清君 若槻君ノ御演說ニ對シテ質問ヲ致シタイノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 若槻君ニ對スル質問デアリマスカ

○男爵高橋是清君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵高橋是清君 今ノ御演說ヲ伺ヒマスト云フト、日支銀行ノ働ヲナスニ當テハ、他國ノ銀行ガ歐羅巴ノ戰爭ノ爲ニ機關ガ鈍テ居ルカラ、支那人モ大ニ歡迎ヲスルト云フヤウナ御說ノヤウニ聽取リマシタガ、無論此銀行ノ設立ニ付テハ、支那人ニ便利ヲ與ヘルト云フ矢張り其目的ヲ持ッテ居ラレルノデスカ、果シテサウデアアルナラバ、從來外國ノ銀行ガ支那ニ在ッテ如何ナル働ヲシテ居リマスカ、私ノ聞ク所デハ、又見タ所デモ、支那ニ金ヲ貸スノハ政府ノ保證ガアルモノデナケレバ成ルベク貸サヌガ宜シイ、支那人ノ個人ニ對シテハ相當ノ資産アリト分ッテ居ルモノハ相手ニスルガ、ソレハ矢張り今日正

金銀行デモヤッテ居リマスガ、一般ノ支那人ガ金ヲ借ラウトシテモ、外國ノ銀行ガナイ爲ニ資金ニ窮シテ居ルカラ、今日デハ斯ウ云フ銀行ガ立テバ、大ニ歡迎ヲスルト云フヤウナ説明デアッタヤウデアリマス、果シテサウ云フ事實ガアルノデアリマスカ、私ノ見聞スル所デハ、ナカ／＼多數ノ支那人ノ希望スル所ニ從ッテ金ヲ貸スト云フコトハ、外國ノ銀行デハ出來ナイ、若シ出來ラバ、ソレハ相當ノ資産ガアッテ、多クハ貿易ニ關係シテ居ル支那人デアリマス、ソレト支那ノ官吏ニ對シテ貸シテ居ルコトト思ヒマスガ、他ノ一般ノ貿易ニモ關係セズ官吏デモナイ唯ノ農商工ノ支那人ニ、金融ノ便ハ外國銀行ハ與ヘテ居ラヌト存ジテ居リマス

○議長(公爵徳川家達君) 高橋男爵ニ念ノ爲ニ申シテ置キマスガ、本日モ亦御質問デナクシテ、御意見ノヤウナ所モアルヤウニ思ヒマス

○男爵高橋是清君 質問ヲ致シマスルニハ、自分ノ意見モ述べナケレバ趣意ガ立タヌノデアリマス、度々御忠告ヲ受ケマスガ、私ハ十分自分ノ考ヲ述ベナケレバ、私ノ質問ノ趣意ガ能ク分ラスト思フノデアリマス、ソレ故ニ意見ヲ併セテ質問ヲ致スノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 御注意ヲ致シテ置ケバソレデ満足イタシマス

○若槻禮次郎君 唯今ノ御質問ニ御答イタシマス、私ハ此兩銀行トモ成立イタシマシタナラバ、支那人ニモ日本人ニモ兩方共ニ金融ノ出來ルモノト考ヘテ居リマス、支那人ニノミト云フノデアリマセヌ、日本人ニモ兩者共ニ金融ノ便宜ヲ受ケ得ルコトト存ジマス、ソレカラ支那人ノ要スル資金ニ付テ、高橋男爵ハ外國銀行ハ外國政府ノ保證ノアルモノノミニ金融ヲシテ居ルガ、其以外ニ付テモ金融ヲシテアル見込カト云フヤウニ承リマシタガ、若シ左様デアルト致シマシタナラバ、私ハ廣イ意味ニ於テ支那ハマダ／＼經濟上發展シナケレバナラスモノト思ヒマス、交通機關ノ問題デモ工業會社ノ問題デモ、其他總テノ事柄ニ付テ餘程事業ガ起ラネバナラスト思ヒマス、ソレ等ニ付テハ國內ノ資本ダケデハ到底足ラスト思ヒマスノデ、其一部ナリ大部分ナリノ資本ハ外國ニ仰グモノト考ヘテ居リマス、此場合ニ於テ日支銀行ノヤウナモノガアッテ、此必要ニ應ズルト云フコトニナレバ、其利益ハ支那人ガ受ケルノデアリマスガ、又放資ノ利益、竝ニ放資シタ關係カラ、經濟上ノ關係ヲ満足ニスルト云フ利益ガアリマスカラ、ソレ故ニ日支兩國人ガ此資金ヲ利用スルコトニナリ、又利用ノ途ハ十分ニアルト考ヘテ居リマス

○男爵高橋是清君 議長

○議長(公爵徳川家達君) 高橋男爵ハ……

○男爵高橋是清君 重ネテ御尋ネ致シタイ、此銀行ガ立チマス、即チ其資本ハ重モニ固定資本ノ必要ガ多イト私ハ考ヘルノデスガ、若槻君モ矢張り支那ニ銀行ヲ立テテ支那ノ開發ニ利用シテ、日支間ノ貿易、此銀行ノ利用關係ニ依ッテ十分ニ働ラサセヤウトスルニハ、重モニ固定資本ニ投資スル機關デナケレバナルマイト考ヘマスガ、サウ云フ御考デアルカ、果シテ固定資本ヲ要スルト云フコトニナレバ、此機關ハ何レノ方面ヨリ資本ヲ得ルノデアリマスカ、矢張り支那人ノ貯蓄ヲモ吸集スル御考デアルカ、又支那ニ於テ邦人ガ臺灣銀行、正金銀行、朝鮮銀行ト云フヤウナモノガアリマス上ニ、尙ホ金融機關ノ闕乏ヲ感ジテ居ルト言ハレルノデスカ、私ノ見聞シタ所デハ、今日七千人八千人ト云フ者ガ上海界限ニモ居ルノデアリマス、是ハ出來得ルダケハ金融モ或ル程度ニ於テハ、臺灣銀行ナリ正金銀行ナリカラ融通ヲ受ケテ居ル、聞ク所ニ據リマスルト、其融通ヲ受ケルコトガ出來ナイ者ハ、金融ノ闕乏シテ居ル者ハ、若シ是等ノ者ニ應ジテ資金ヲ供給スルト云フコトニナレバ、營利事業ノ銀行デハ成立タヌト云フコトヲ信ジマスガ、サウ云フ金融ノ闕乏シテ居ル人ニ、機關ガアリ金ガアツテモ貸スコトガ出來ヌ人ミガ何千人モアルト思ヒマスガ、矢張りソレ等ノ人ミニモ金融ノ途ヲ得サセルト云フ思召デアルカ、又東亞興業會社、中日實業公司ト云フモノガ出來マシタガ、ソレ等ノモノハ今日ドンナ働ラシテ居リマスカ、初メ設立ノ當時聲ヲ放ッタノハ、兩國ノ間ノ經濟關係ヲ親密ニシテ仕事ヲスルト云フコトデアリマシタガ、今日デハ寧ロ斯様ナモノガアツテ、却ッテ日本ニ野心ガアルト云フヤウナ噂ヲスル材料ニ使ハレルト云フヤウナコトニナツテ、事實ニ於テハ兩國ノ間ノ經濟關係ヲ親密ニスルト云フガ如キ關係ヲ擧ゲナイヤウニ考ヘル、此東亞興業ノ如キハ國家的ニ設立セラレタガ爲ニ、已ムヲ得ズ政府ノ保護ノアル預金部ヨリ低利ノ金ヲ渡シ、ソレヲ高利ニ支那ノ鐵道會社ナドニ貸シテ、其差ヲ以テ僅ニ株主ニ配當ラシテ居ルヤウナ狀態デアルト云フコトヲ聽クノデ、既ニサウ云フ例ガアリマス、此銀行ヲ日本ノ法律デ日本ノ會社ニシテ……若シ支那ノ會社デ……日支合辦ト云フモノナラバ特殊ノ權利ヲ支那政府カラ得テ、或ハ日本人ガ行ッテ此機關ガアルカラシテ支那人ト合辦シ、鑛山ヲ起シ、鐵道ヲ敷設スルト云フ事業ヲ起スコトモ出來マスガ、日本ノ會社デアツテ見マスル

ト支那政府ハ如何ニ我邦ニ誠意ヲ以テ居ッテモ特殊ノ利益ヲ與ヘルコトガ出來スト云フノハ、是ニ與ヘレバ直チニ外ノ國ガ均霑主義ヲ唱ヘテ、日本ニ與ヘレバ矢張り他國ニモ與ヘナケレバナラヌト云フコトガアリマスル爲ニ、從來日本ノ會社ト云フモノハ何等特殊ノ利益トカ權利ヲ支那政府カラ得ルコトガ出來ナイヤウナ狀態ニナツテ居ル、尙ホサウ云フ闕點ガアルニモ拘ラズ今日銀行ガ最モ必要デアル、此銀行ガ建テバ日支ノ經濟關係ガモット親密ニナル、其時ニハ我が經濟力ガ支那ニ發展スルヤウニナルト云フコトハ認メラレナイヤウニ實際カラ考ヘラレルノデアリマス、能ク熱心ニ此案ノ御主張ヲナサルノハソレハ敬服イタシマスガ、若シ之ヲ建ツタ以上ハ是マデノ東亞興業會社、中日實業公司ト云フヤウナ、事實ニ於テサウ效績ノ擧ラヌヤウナコトノナイヤウニ致シタイト云フノガ私ノ希望デアリマス、ドウカシテハ趣意ハ誰モ惡イトハ云ヒマセヌ、果シテ目的ヲ達スルコトガ出來ヌヤウナ組織ニナツテ居レバ誠ニ結構デアルガ、若槻君ハ御在職中ニハサウ云フコトハ餘程御研究ガ積ンデ、常ニ日支銀行ナドニハ反對セラレタ方ノ側デアリマス、其趣意ハ良イガ其成立ヤ組織ニ於テ闕クル所ガアツテ反對サレタノデアラウ、今日モ矢張り從來ノ立テ方ト別ニ變ツタ所モナイカラ、其結果ニ於テモ中日實業公司、東亞興業會社ノ如クニ終リハセヌカト云フ疑念ヲ私ハ抱クノデアリマスガ、若槻君ガ官ヲ去ッテ以來今日ニ至ッテ新ニ御考ガ變ハルダケニ支那ノ事情ガ變ッテ居ルト云フコトヲ御認メニナツテ居リマスカ、サウ云フコトヲ承リタイ

○若槻禮次郎君 高橋男爵ノ第一ノ御問ハ此銀行ハ固定の資本ヲ餘計要求スル、左様ニ考ヘルカト云フ御尋ニ對シテハ私モ其通リト考ヘルノデアリマス、ソレノミニ資本ヲ要スルト云フ譯デハアリマセヌケレドモ、固定の資本ヲ餘計要求スル銀行デアルカト云フ御尋ニ對シテハ大體左様デアリマス、御答スルノデアリマス、第二ノ御尋ノ支那ニ於テハ今日日本ノ普通ノ銀行ガ融通シテ居ル以外ニ資金ヲ要求スルモノハ皆不信用デ、之ヲ貸スコトガ出來ヌカラ貸サヌコトニナツテ居ルノデ、若シ信用ガアルナラバ普通ノ銀行ニ於テ貸スデアラウカドウカト云フ御尋ニ對シテハ、私ハ不幸ニシテ高橋男爵ト觀察點ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、今日ハ不信用ノ申込モアリマセウガ、併ナガラ中ニハ十分信用スベキ資金ノ申込ニ對シテ資金ガナイ爲ニ、資本ガナイ爲ニ貸スコトガ出來ヌヤウナモノガ少クナイノデアル、此事ガ今日日支銀行或

ハ滿洲銀行ノ設立ヲ要求スルヤウニナッタ次第アルト思フノデアリマスカラ、ソレニ付テハ觀察ガ全ク異ナツテ居ルト云フコトヲ申上ゲル外ナイノデアリマス、第三ニ御尋ノ此銀行ガ又東亞興業會社、中日實業會社ノヤウナモノニナツテ餘リ働ラカナイモノニ終リハセヌカト云フ御心配ニ付テハ、私ハ左様ニハ思ハヌノデアリマス、東亞興業會社、中日實業會社ヲ何故ニ日本ガ興シタカ、是ハ支那ニ於テ色ミナ事業ヲシタイト云フコトデアッタラウト思フノデアリマス、又是等ノ會社ハソレガ爲ニ餘程努力シテ居リマスガ、此會社ノ活動ガ十分ニ往カナイノハドコカラ出テ居ルカト云フト資金が見付カラスト云フ點カラ多ク此會社ガ十分ニ働ラカナイ、斯ウ見テ居ルノデアリマス、即チ金融機關ガ關ケテ居ルト云フコトガ是等ノ會社ノ活動ヲ十分ナラシメナイノデアラウト思フノデアリマスカラ、日支銀行ノ如キ滿洲銀行ノ如キヲ拵ヘテ、日本人ガ債券ヲ發行シテ資金ヲ調達スル機關ヲ有ツテ居ッテ、其資金ヲ東亞興業會社、中日實業公司ニ融通スルコトニナリマスレバ、今マデ活動シナカッタ會社ガ活キテ來ルデアラウト私ハ考ヘテ居リマスカラ、此點ハ又高橋男爵ト私ト意見ヲ異ニシテ居ル點デアリマス、私ハ日支銀行ノ設立ニ對シテ在職ノ場合ハ反對シテ今日之ヲ賛成スルカト云フ御言葉ガアリマシタガ、左様デハアリマセヌノデ、演壇ノ所デ意見ヲ述ベマシタ場合ニ於テモ、是マデハ成ルベク今マデアル銀行ヲ利用シテ此必要ニ應ジタイト云フノデ努力シタノデ、努力シツツアルガ、又新ニ銀行ヲ建テルマデノ考ハ持つニ至ラナカッタガ、十分ニ研究ヲシテ、努力シテ、結局是ハ現存ノモノダケデハ足りナイト云フコトヲ考ヘタカラ、日支銀行滿洲銀行ヲ設立スルニアラザレバ往カナイト云フ意見ニナッタト云フコトハ先刻申上ゲマシタ、ソレガ詰リ從前ト今日考ガ變テ居ルト云フコトナレバソレデアリマスノデ、退職ノ前後ニ依ッテ意見ヲ異ニシタト云フコトハ全クナイノデアリマスカラ左様御了承ヲ願ヒマス

「男爵田健治郎君演壇ニ登ル」

○男爵田健治郎君 私ハ今日ハ議會ノ最終日デアリマシテ、殊ニマダ豫算ノ重要ナル案モ數案殘リテ居ルノデアリマスカラ、最早演壇ニ登ルヤウナコトハ致スマイト存ジテ居リマシタガ、唯今若槻君カラ色ミ此否決ノ理由ニ付テ如何ニモ曖昧ノ如キ御説ガ出マシタカラ、已ムヲ得ズ極メテ簡單ニ此我ミモ此否決ノ方ニ賛成スル所ノ理由ヲ申述ベヤウト思ヒマス、私ハ委員デモゴザイマセヌカラ委員會ノ模様ハ一向承知イタシマセヌ、致シマセヌガ段々研究シ

テ見マシタ所デ、此日支銀行ト云フ問題ニ付テハ餘程古イ問題デ、是ハ餘程古クカラ研究サレテ多年是ガ必要ヲ唱道シ來タ問題ニ相違ナイ、殊ニ若槻君ノ如キハ其衝ニ當ラレテ御話デゴザイマスカラ、極メテ其事情ニハ能ク通曉セラレテゴザルコトハ勿論ノコトデアリマスガ、我ミモ此日支銀行ト云フコトニ付テハ數年前ヨリ或ハ當局者ナドニモ希望ヲ申出タコトモゴザイマス、其時ノ希望ハ寧ロ今日出マシタモノヨリモモット大キナモノニシテ、且ツ日支合辦ノ組織ニナルヤウナ希望ガ多カッタノデゴザイマス、是ハ多クノ實業界ノ人ナドモ、ソレデアッタラウト思ヒマス、所ガ今日出マシタモノハ、サウハナツテ居ラス、是ハ今日ノ事情已ムヲ得ヌカモ知レマセヌガ、兎ニ角此日支銀行ノ今日ノ法案デ以テ直グニ之ヲ即決スルト云フコトハ、如何ニモ不安ノ念ニ堪ヘヌト云フコトハ一同ニ感ズル所ナノデアリマス、斯ウ云フコトハ歷代ノ内閣モヤッテ居ルノデ、例ヘテ見ルト古カラヤッテ居ル正金銀行、臺灣銀行ナドガ、即チ爲替銀行トシテノ務ハヤッテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ足ラスト言ウテ代々一ツツ斯ウ云フヤウナモノヲ拵ヘテ居ル、私ハ能クハ記憶シマセヌガ、何デモ西園寺内閣ノトキデアリマシタカ、中日興業ト云ヒマシタカ、日支興業ト云ヒマシタカ、云フモノガ出來タ、是ハ寧ロ固定の放資ト云フ所ノ主義デ出來タモノト思ヒマス、其後又其次ノ内閣ノトキデアリマシタカ、中日實業ト云フモノガ出來タ、是ハ矢張り日支合辦デ出來テ居ル、是モ目的ハ矢張り支那ヘ向ケテ固定の放資ヲスルト云フ眼目デ出來テ居ルヤウデアリマス、併シ此實狀ハ如何、成程前ニ出來タモノハ幾ラカノ仕事ハ出來テ居ルカモ知レマセヌガ、併シ當初カラ豫期セラレタ所ノ目的ニ伴フモノガ十分ニ出來テ居ルカト云フト、如何ニモサウハ參ッテ居ラスト云フ事實デゴザイマス、況ヤ後ニ出來タ中日實業ト申ス方ノ如キハ、名ハアリマスケレドモ、未ダ幾ラノ仕事ヲシテ居ルカト云フコトニ付テハ、一向聞ク所ハナイノデアリマス、是等ノモノハ唯矢張り其時ミニ思付イテ、輕ミシク十分ノ調査モセズシテヤルカラ、立派ナ機關ハ出來ナガラ、其機關ノ實效ヲ顯ハスコトガ出來ナイト云フコトヲ皆證據立テ居ルノデアリマス、今度ノ日支銀行ハ、公ケノ法律デ出來テ居リマスカラ、少シク大袈裟ナモノニナツテ居ルガ、併ナガラ我ミガ希望シテ居タ所ノ合辦組織デナイト云フコトハ、即チ矢張り今日ノ兩國ノ國際ノ關係ガサウ云フ工合ニ行カヌカラ、斯ウ云フコトニナッタノダラウト思ヒマス、ソコデ合辦組織ガ行カヌニシテ見テモ、是ガ確實ニ行クダケ

ノ成算ガチャント出来テ居ルナラバ免モ角モデアリマスルガ、此準備ナリ調査ナドニ付テ當局者ニ模様ヲ伺フテ見マスルノニ、ドウモ甚ダ不十分ナヤウデアリマス、合辦デナイカラ兩國間ニハ何等ノ關係ガナイト表面デハ言ヘルカ知レマセヌガ、苟モ支那人ニ株ヲ持タセ、支那人ヲ重役ニスルト云フ以上ハ、其間ニ矢張り意思ノ疏通ガナクテハナラヌノデアルガ、ソレ等ノコトハ一向用意ガ出来テ居ラナイノデアリマス、現ニ若槻君ノ如キハ此場デ申スノハ憚ルカモ知レマセヌガ、此問題ニ付テ私ニ御話ニナッタ、若シモ支那人ノ株主ガ出来ザラ日本人バカリデ株ヲ持ッテ居ッテ、出来ル時分ニ譲渡シテヤッテモ宜イ、重役ニ支那人ガナル者ガナカッタ先ヅ日本人バカリデ組織シテ居ッテ、追ッテ支那人ヲ入レテ組織シテモ宜イト云フヤウナコトヲ、私ノ尋ニ對シテ御話ニナッテ居リマスガ、サウ云フ漠然タルコトデ……成程法律ハ「得」ト書イテアルカラ、ドウデモ宜イ、支那人ガ株ヲ持タナケレバ持タナクテモ宜イ、支那人ガ重役ニナラナケレバナラヌデモ宜イト云フコトニナルガ、法ノ精神ハサウ云フモノトハ思ハレナイノデアリマス、表面合辦デヤナイケレドモ、ドコマデモ日支ガ經濟上ノ提携ヲ致シテ、東洋ノ經濟界ノ發展ヲ圖ッテ行カウト云フノガ目的デアルナラバ、若シ應ズル者ガナケレバ日本人バカリデヤッテ置イテ、應ズル時節ヲ待ツノダト云フヤウナコトデハ、目的ヲ達セラレナイト思フノデアリマス、細カク進ンデ論ズルナラバ、營業ノ方法等ニモ私共幾ラモ不足ヲ言ヒタイコトガアル、詰リ是ガ固定的資本ヲ放資スルガ目的デアルトシタナラバ、今日ノ事情ハ如何デアリマセウ、既ニ出来テ居ル謂ハユル中日實業一箇所ノモノガ殆ド何モ出来ナイノデアアル、ソレニ向ッテ又同ジヤウナモノヲ拵ヘタッテ何ニモ出来ヤシナイ、若シ之ヲ商工の活動ノ方ニスルト云フナラバ、正金銀行、臺灣銀行ト同ジヤウナモノヲ拵ヘルヤウナコトニナル、其邊ニ付テ十分ニ研究シ、十分ニ成算ヲ立テテ始めテ御ヤリニナルナラバ、我々ハ兩手ヲ舉ゲテ賛成スル、デアリマスカラ仕事其物ニハ主義トシテ最モ賛成スル、ノミナラズ、嘗テ若槻君ガ大藏大臣デ居ラシヤル時分ニ、是ガ希望ヲ申述ベニ行ッタ一人デアアル、然ルニ今日ノ此案ハサウ云フヤウニ出来テ居ラス、サウ云フヤウナ事情ニナッテ居ラス、サウ云フ調査モ出来テ居ラヌト云フモノヲ、唯名ガ善クサヘアレバ何デモ難容ヲシテ仕舞フト云フヤウナ若槻君ノ御論ニハ同意ヲ仕兼ネルノデアリマス、又滿洲ニ於テハ如何デアルカ、是ハ豫算委員會ニ於テ外務大臣ニ段々滿洲ノ事情ヲ質問申上ゲマシタ

ガ、昨年ノ協約ニ依ッテ滿洲ニ商租權ヲ得タ、或ハ蒙古ニハ農業權ヲ得タトカ、或ハ製造權ヲ得タトカ云フコトハゴザイマスルガ、此事ハ實際ニ行ハレテ居ルカト云ウタナラバ一モ行ハレテ居ラス、ノミナラズ種々ノ妨害ヲ支那人政府人民ヨリ受ケテ、日本人ガ彼ノ商租其外土地ノ上ノ權利ニ付テ條約締結前ヨリモ不便ナ位置ニ立ッテ居ルト云フコトハ、外務大臣モ承認セラレテ居ル、是ハ何トカセヌナラヌガ、今日ノ事情ハ其通りデアルト云フコトヲ明カニ御答ニナッテ居ル、此滿洲銀行ハソレ等ノモノニ向ッテ放資ヲシヤウト云フノガ目的デアアルノデアリマスカラ、其目的物ガ今申スヤウナ理窟デ、條約ハ出来テ居ルケレドモ其實行ガ未ダ出来ナイト云フヤウナ有様ノ所ヘ持ッテ行ッテ立テタ所ガ、何ニモ手ヲ伸バスコトハ出来ナイノデ、而シテソレナラバ支那人滿洲ナリ或ハ蒙古ナリノ支那人ノ部分ニハ行ケナイカラ、日本ノ謂ハユル租借地及鐵道ノ附屬地ダケニ限ッテアルカト言ヘバ、是ハ正金銀行ト正隆銀行トガスツカリヤッテ居ルノデアリマス、政府ハ、イヤ正金銀行ノヤッテ居ル所ノ二百五十萬圓ホドノ不動產貸付ハ、政府カラ貸シテ居ル、二百五十萬圓ノ低利資金ト共ニ此滿洲銀行ヘ譲渡サシタルノダカラ、其日カラ營業ニハ困ラナイト云フ御説明デアアルガ、是ハ實ニ驚入ッタ御説明デアアル、正金銀行ガ二百五十萬圓ノ低利貸付ヲ以テ租借地ナリ或ハ附屬地ナリニ放資シテ、家屋ヲ建築サセテ、ソレハモウハヤ回收ノ時期ニナルト云フ其物ヲ、態々低利ニ貸付ケテ十年立タナクテハ政府ヘ回收ノ出来ナイト斯ウ云フモノニ譲リ渡サシテ……ソレナラバ出来マセウ、ト云フモノハ低利ノ三朱ノ金ヲ借りテ來テ居ルモノヲ讓受ケテ年賦償還ニスルノダカラ、營業ハ其日カラ出来マセウガ、ソレデ政府ハ差引キ何ヲ得タカト云ヘバ千萬圓ノ資本ニ十年ノ間六朱ノ利子ヲ補充シタルト云フダケガ餘計ノ仕事ニナルノデアアル、ソレナコトヲシナクテモ、今ノ租借地ト附屬地ダケナラバ二百五十萬圓ヲ三朱ノ利息デ貸シタルモノデ立派ニ活キテ居ル、ソレヲ態々同ジコトヲサスノニ、千萬圓六朱ノ利子ヲヤルト云フコトハ、私ハ此間政府ノ方ニ向ッテ申上ゲマシタ、政府ハ如何ニモドウモ非常ナ國庫ガ豐デアッテ金ガ餘ッテ使ヒ途ガナクテ困ルカラ、サウ云フコトヲナサルノデアルトマデ申上ゲタ次第デアリマス、デアリマスカラ我我ハ決シテ日支銀行ニシテモ滿洲銀行ニシテモ、主義トシテハ無論希望ヲスル方デアアル、有力ナル有效ナル十分ニ活動スル所ノモノガ出来ルナラバ無論希望スルノデアリマスルガ、今日ノ法案ト云フモノヲ見ルト云フトソレ等ノ

モノガ皆闕如シテ居ル、名サヘ得タナラバ宜シイト云フヤウナコトヲ以テ、國庫ノ費用ヲ濫費スルト云フヤウナコトハ我々ハ深ク憤マナケレバナラスノデアアル、既往ガ既ニサウ云フ不成蹟バカリ示シテ居ルノデアアル、デアリマスカラ我々ハ之ニ對シテ慎重ナル調査ヲ遂ゲテヤラウト思フ、所ガ時日ガナキノミナラズ、實ハ我々ハ之ヲ否決スルハ甚ダ忍ビヌノデアアル、有リ體ニ申シマスレバ時日ガ切迫シタカラ握潰シニシタカッ、所ガ豫算ヲボカリト出サレタカラ如何トモ仕方ガナイ、豫算委員會ニ掛ッテ居リマスカラ、法律ヲ其儘ニシテ置イテ豫算ヲ減ジテ行クト云フ譯ニ行カヌ、如何トモ仕様ガナイカラ涙ヲ流シテ此法案ヲ否決スルト云フノ已ムヲ得ザル次第ニ至ッタノデアリマスルカラ、其邊ヲ御察シ下スツタナラバ、決シテ貴族院ハ唯理由モナク亂暴ニ、殆ド若槻君ハ委員會ノ模様ヲ御述ニナッテ、唯理由モナク否決スル如クニ仰セニナルガ、私ハ委員會ハ一回モ拜聴シマセヌカラシテ存ジマセヌガ、我々ガ此延期の否決ニ同意シタ所以ハ今申上ゲタ次第デゴザイマスカラ、決シテ無關ニ之ヲ潰ス積リデナイ、是ハ懸案トシテ十分ニ官私共ニ是カラ研究モシ調査モシ、而シテ政府ニ於テハ十分ノ爲シ得ル運ビノ付クヤウ、而シテ之ヲ拵ヘタ以上ハ十分ノ活動ヲシ、十分ノ效用ヲ舉ゲルヤウニ今カラ御用意アッテ、次ノ議會ニ御出シ下サルガ當然ドラウト思ヒマス、餘リ長クナリマスカラ是デ御免ヲ蒙リマス

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳澤保惠君 本員ハ珍ラシク政府案ニ賛成ヲスル一人デアリマス、唯今田男爵ノ御演說ヲ承リマスルト、誠ニ理由アル御反對デ一應御尤ニ考ヘマス、私ハ田男爵ノ御演說ニ對シテハ何等申シマセヌ、委員會ニ於ケル所ノ反對諸君ノ說ヲ伺フト、其反對諸君ハ賛成デアルト云フ趣意ヲ述ベラレテ反對サレタノデアリマスルカラ、此御方ニ向ッテ鄙言ヲ呈シテ御考慮ヲ煩ハシタイト考ヘルノデアリマス、而カ致シマシテ幸ニ御反省下サレタナラバ單ニ反對者ハ田男爵一派ノ方デアリマスカラ、此案ハ直チニ可決サレルモノデアリマス、ドウゾ一言鄙言ヲ御聽ヲ願ヒタイノデアリマス、委員會ニ於キマシテ第一ニ我ガ尊敬スル所ノ後藤男爵ハ巧妙ナル比喩ヲ以テ反對說ヲ述ベラレタノデアリマス、其說ハ先キホド委員長トシテ私ハ申上ゲマシタガ、總理大臣竝ニ外務大臣ノ談話ニ不調和ノ點ガアル、不統一ノ點ガアル、此案ハ賛成デハアルケレドモ精神ト調和トニ足ラヌ所ガアルカラシテ、例ヘテ申セバ龍ノ眼

ニ瞞ヲ點ゼヌモノデアアル、此點ニ於テ反對スルト言ハレタノデアアル、御趣旨ハ賛成デアリマシテ其結果反對ニナッタノデアリマス、私ハ之ニ對シテ一言ヲ申上ゲタイノデアリマス、私ハ唯今ノ後藤男爵ノ御演說ヲ聽キマシテ、龍ノ眼ニ瞞ヲ點ジナイノガ私ハ此法案ノ妙味ノアルコトヲ思フノデアリマス、若シモ此法案ガ後藤男爵閣下ノ如ク龍ノ眼ニ瞞ヲ點ジタモノデアレバ此龍ハ方々ニ暴レルノデアリマス、之ヲ私ハ甚ダ遺憾トスルノデアリマス、龍ノ眼ニ瞞ヲ點ゼヌ所ガ最モ私ガ政府ノ意思ヲ付度スル所以デアアルノデアリマス、是ハ全ク後藤男爵ノ見解ト違ッテ居リマスルカラシテ、敢テ後藤男爵ニ御反省ヲ強ヒマセヌ、併ナガラ後藤男爵ハ多年南滿地方ニ於テ非常ニ御苦勞ヲナサレタ御方デアリマス、故ニ此龍ノ眼ニ瞞ヲ點ゼヌト云フコトガ宜イト云フノハ御存ジドラウト思フ、ソレヲ何カ政府ノ言フ所ガ足ラザルガ如クニ申サレマシテ之ニ反對セラレルノハ誠ニ遺憾デアリマス、後藤男爵ト雖モ政府ノ趣旨ノアル所、精神ノアル所ハ御存ジデアラウト私ハ推量シテ居ルノデアリマス、此推量ニシテ果シテ當ヲ得タナラバ、何トゾ後藤男爵ニ於テモ御反省ヲ願ヒタイノデアリマス、次ニ岡部子爵ハ委員會ニ於テ斯ノ如ク言ハレマシタ、私ハ此案ハ賛成デアアル、併ナガラ此議會切迫ノ際ニ於テ十分ニ考慮ノ餘裕ノナイ場合デアアル、此場合デアアルカラシテ遺憾ナガラ延期ノ意味ヲ以テ反對デアルト云フコトデアリマシタ、私ハ此岡部子爵閣下ノ御說ハ研究會ヲ代表スル說トシテ拜聴シタノデアリマス、私ハソレヲ聽イテ實ニ啞然タラザルヲ得ナカッタノデアリマス、何トナレバ研究會ハ我々ノ團體ノ如ク鳥合ノ人物ノ集合ト違ヒマシテ、實ニ堂々タル一派デ意氣揚々トシテ一絲紊レザル所ノ方ミノ寄合ノ會デアリマス、然ルニ此日支銀行ノ如キ所ノ法案ガ出タノハ決シテ今日咄嗟デハナイ、先キホド若槻君ガ言ハレタ通りニ、明治三十六年ニ日支銀行ノ設立ノ議ガアッタノデアリマス、研究會ニ於テハ種々ノ調査部ガアリマス、大藏ノ部アリ海軍ノ部アリ種々ノ部門ニ分レテ居リマス、總テ斯ノ如キ所ノ十分ナル調査ノ機關ヲ備ヘテ居ル研究會ガ、明治三十六年ニ斯様ナ案ガ出タト云フコトヲ御承知ニナッタナラバ無論御忘レハアリマス、其時相當ノ御調査ヲナスツテ、三十六年カラ今日マデ十四年經ッテ居ル、何ヲシテ居ツタカ、研究會ハ私ハ三十六年ニ日清銀行案ガ出タノデアアルカラ、ソレヨリ種々ナル專門家アリ又明識ナ方モアリマスルカラ、始終調査ヲサレタコトト思フ、故ニ岡部子爵ノ御言葉ハ甚ダ分ラヌ、研究會ハ單ニ形式ノミニ依ッテ少シモ調査

サレナカッタノデアルガ、調査サレナカッタナラバ致方ハナイ、是ハ怠慢デア
ル、研究會ノ御調査ガ怠慢デア、併シ恐ラクハ私ハ研究會ニ於テハ是ハ十
分ノ御調査ガアリ又相當ナル御施設モアッタラウト思ヒマス、故ニ單ニ時日ガ
乏シイ調査スル機會ガナイト云フコトニ言ハレルノハ甚ダ是ハ不明瞭、不徹
底ナ御説デアッテ、岡部子爵ノ御本旨ハ或ハ此點デハナイト思フ、他ノ點デア
ラウト思ハレマス、若シモ他ノ點デアッタナラバ伺ヒタイノデアリマス、併ナ
ガラ岡部子爵ハ中ミ私ガ申上ゲタ所デ直グ實ヲ吐カレヌ方デア、研究會ガ
サウ云フ會デア、必ズ仰シヤラス、御本旨ガ分リマセヌガ、若シ岡部子爵
ノ御言葉ノ如クニ調査ノ時日ガ不十分デアルト云フコトヲ言ハレタナラバ、
研究會ノ是迄ノ御態度ハ甚ダ怪シマザルヲ得ヌデアリマス、十分御調査アッ
タ筈ト思フノデアリマス、故ニ私ハ御調査ガアッタニ拘ラズ斯ク反對サレ
ノハ、言フコトノ出來ナイ理由ガアッテ反對セラルルノデハナイカト思フノデ
アリマス、故ニ私ハ岡部子爵ノ贊成ノ反對ハ、誠ハ贊成ノ反對ト言ハレタ
コトガ最モ妙味アルコトト思フノデアリマス、ドウゾ私ハ岡部子爵閣下ニ切
望イタシマス、ドウゾ曖昧ナルコトヲ仰シヤラスニ正々堂々タル理由ヲ仰
シヤレバ服シマスガ、先程ノ委員會ノ如キ御説デハ甚ダ私ハ御答辯ニ苦シム
ノデアリマス、此意味ニ於テ研究會諸君ノ御反省ヲ願フテ、私ハ原案賛成ヲ希
望スルノデアリマス

「男爵後藤新平君演壇ニ登ル」

○男爵後藤新平君 會期切迫ノトキデアリマスルカラ、私ハ此ニ出テ何事モ
申上ゲルコトノ考ハナカッタノデアリマスガ、唯今柳澤伯爵カラ何カ私ノ不辯
ノ爲ニ申述ベタ所ガ御理解ナラヌデアリマシタカ、何カ故障ヲ入レラレマ
シタ、戰ヲ挑マレタヤウナ感ガアリマス、是ハ私個人ノ關係デアリマスケレ
ドモ、ソレヲ以テ此貴重ナル時間ヲ費スト云フコトハ甚ダ諸君ニ對シテ恐縮
ナコトデアリマス、併シソレニ非ズシテ柳澤伯爵ハ委員長ノ御報告ガアリマ
シテ、態々登壇シテ御意見ヲ別ニ御述ニナルコトハ差支アリマセヌガ、委員
會ニ付テノコトヲ御述ニナルト云フニ至ッテ、是ハ議場ノ慣例ガアルカハ私ハ
存ジマセヌケレドモ、甚ダ私ノ服サヌ所デアリマス、何故ニ其席ヲ讓ッテ其時
ニ御討論ヲナサイマセヌ、又御質問ヲナサイマセヌカ、併シ柳澤伯爵ニシテ
本議場ニ於テ何等カ名聲ヲ賣ラウト云フ野心ガアッタライザ知ラズ、然ラザル
以上其態度ハ甚ダ宜シキヲ得ナイ、議場ノ混雜ヲ起スモノト私ハ考ヘルノデ

アリマス、是ハ私ノ失言カモ知レマセヌガ、私ハ左様ニ考ヘルノデアリマス、
柳澤伯爵ハ能ク私ノ不辯ナコトモ御解リニナッテ議決ヲ採ラレタモノト思フ、
況ヤ委員諸君ニ於テ私ノ不辯ヲ以テ申上ゲタコトモ明カニ御解リニナッタカ
ハ質問ニナラヌノダト思ヒマス、然ルニ委員長シテノ御辯論トシテ甚ダ私
ハ備ラムコトヲ柳澤伯爵ニ望マザルヲ得ヌト考ヘマス、之ヲ以テ此壇ヲ降ッテ
宜シイノデアリマスガ、先刻若槻君ノ續々御述ニナリマシタ其御論旨ヲ承リ
マスルト、何モ理由ガナイコトノヤウニ御考ヘデア、併シ多數ノ委員諸君
ハ能ク御理解下サッタコトト思ヒマス、政府提案ノ趣旨ニ於テ精神上關クル所
アリ、政府ノ此案提出ニ於テ不統一ナ所ガアル、之ヲ一々申述ベヌデモ委員諸
君ハ然リト御考ヘニナッタニ違ヒナイト思フ、之ヲ私ガ此所デ一々申述ベルト
云フコトニナルト數時間ヲ費スベキモノガアル、又委員會ニ於テモ左様デア
ルカラ私ハ述ベヌノデア、唯私ハ茲ニ要點ヲ述ベテ其長時間ニ互ラザルモ
ノダケヲ申述ベヤウト思ッテ居リマス、或ハ不順序ニナルカモ知レマセヌガ、
其點ハ能ク聰明ナル諸君ノ御聽取ヲ希望シタイト思ヒマス、若槻君ハ金融機
關ガ闕乏カラ是ハ今日ニヤルガ宜イト仰シヤイマシタ、其點ニ付テハ勿論
賛成、私モ數年前ヨリ經濟機關ノ設立ニ付テハ合辦、或ハ日本資本獨立ヲ
以テ設立スルコトヲ屢々其關係當局者ニ向ッテ申述ベタコトガアルノデアリマ
ス、ソレ故ニ之ニ對シテ賛成ヲ表シテ居ルト云フコトハ勿論ノコトデア、
悲シイ哉、似而非ナルモノハ德ノ賊ナリ、又帶ニ短シ襷ニ長キモノハ能ク其
目的ヲ達セヌト云フコトハ、是ハ此議場ノ諸君ニ向ッテ申述ブルコトハ甚ダ
失禮ダラウト……失禮デア、ルガ故ニ分析シテ之ヲ申述ベナイ、是ハ敬意ヲ表
スル所以デア、其證據ニハ先刻田男爵ガ述ベラレマシタヤウニ中日、東亞、
是等ノ會社、此會社ニ對シテハ失禮カ知ラヌガ、龍頭蛇尾デア、最初カラア
ア云フ目的ヲ以テ成ッタカモ知ラヌガ、我々希望シテ居ッタ所デハ結構ナモノ
ガ出タト思ッタルデア、併ナガラ今日ニナッテ見ルト云フト我々ノ望ニ副ハ
ヌ、是ハ當事者モ甚ダ不滿ヲ感ジテ居ルノデア、此度モ左様ナコトデアッテ
ハイカヌカラ能ク調査ヲシナケレバナラヌト云フノハ當然ノコトデアリマ
ス、然ルニ若槻君ノ述ベラレマシタ所ノモノハ政府委員以上ニ能ク述ベラレ
マシタ、之ヲ私ガ謹聽シテ居ルトキハ實ニ畫人ガ畫ヲ描クヤウニアッタカラ
シテ大變面白ク感ジテ敬服シテ承ッタルデアリマス、所ガ前日大藏大臣ノ説明
セラレタ所ニ矛盾ガアルト云フコトハ有ラユル諸君ノ認メテ居ル所デセウ、

而シテ又外務大臣ノ説明ニ至ッテモ甚ダ私ハ疑フ生ジテ承ツタ、所ガサウ云フ譯デモナイト云フコトデアリマシタカラ、是ハ私ハ此所デ詳シク申述ベルト云フトナカ／＼時ヲ費スガ、又私ガ不辯デアルガ故ニ詳シク申述ブルノニハ餘リ露骨ニシテ茲ニ申述ベルコトハ面白カラザルコトヲ感ズルノデアリマス、諸君ニ於テモ御推察下サルコトデアラウト思ヒマス、併シサウ云フ所ノ點ガアッテ時間ヲ費シテ質問ナシ、了解シテ能ク攻究セザレバ已ム能ハザル他ノ問題ガ又生ズルノデアリマス、此會期切迫ノトキニ當ッテ左様ナルコトハ甚ダ時機ヲ得ナイト考ヘマシタカラ、極ク不辯ナル間ニ短ク申述ベテ委員諸君ガ之ヲ諒トセラレタルコトハ有ユル質問ヲ綜合セラレテ、而シテ理解ノ力ヲ以テ私ノ意ヲ諒トセラレタルコト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ル政府ノ答辯ノ中ニ不統一アルコトト、其精神上ニ於テ闕クル所アルト云フコトト、其調和ノ足ラザル所ヲ認メタノデアリマス、ソレ故ニ其僅ニ數字ノ間ニ無量ノ意味ヲ含シテ居ッタノデアリマス、今日茲ニソレヲ悉ク申上ゲマセウト云フナラバ時間モ費シマスシ、又少シク露骨ニ申シタナラバ如何ト考ヘル所モアリマスカラ、此點ハ是ダケニ致シテ置キマス、併シ今日ハ時機ガ宜イカラ支那デモ歡迎スベシト云フコトヲ言ッテ居ラレマスガ、是ハ議論ニ互ルコトデアリマスカラ、其時ニハ申述ベマセダッタガ、此所デハ申述ベテモ宜シカラウト思ヒマス、是ハ私共意見ヲ異ニシテ居リマス、斯ウ云フコトデアリマス、又時機ガ今宜シイト云フガ、時機既ニ後レタリ、或點ニ於テハ尙ホ熟考ノ上ニナスベキガ故ニ時機尙早シ、斯ウ云フコトヲ言フ、過ギタルハ及バザルガ如シト云フガ、即チ本案ノ時機ニ對スル見解デアリマス、銀行ノ法文ガ宜シイ、此次ニ案ヲ出スニモ此案ヨリ外ニアルマイト云フコトハ若槻君ノ主張ノ骨子デアリマス、特別性ノ銀行案其モノハ少シク此法律案ニ通ジテ居ル方ハ御承知ノ筈デアリマス、如何ナル要素ガ竝ンデ居ッテ、如何ナル風ニ書クモノダト云フコトハ是ハ館屋ガ館細工ヲナシ、餅屋ガ餅ヲ拵ヘタヤウナモノデ、ソナニ天地懸隔ヲ致シタモノガアラウ筈ガナイ、成ルホド岡野委員カラ添付ト云フ字ニ對シテ小里偏ガアルカナイカノ質問モ出マシタ、是等ハ岡野委員ノ精密炯眼ナルモノデアリマス、是ヨリ外ニ又形式上ニ互ル、精神上ニ於テ注目スベキコトハ一二ニシテ足ラヌノデアリマス、是ハ併ナガラ若槻君ニハ恐ラクハ分ルマイト思フ、何故分ラヌカト申シマス、總理大臣ノ御演說ニナッタコトヲ引イテ委員會ニ於テ仰シヤッタ所ノ筆記ヲ讀ンデ御覽ナサイ、ソレハ

實ニ探幽ノ龍ヲ描イタノヲ模造スル奴ガ描イタノト少シモ違ハナイ、其巧ナルコト實ニ驚クニ堪ヘタルモノデアリマス、是ハ實ニ若槻君ニ敬服スル所デアリマスガ、斯ノ如キモノニ魅セラレテ之ニ贊成シテ行ッテ、國家ノ爲ニナルデアラウカト云フコトヲ云ウタナラバ、私ハ貴族院議員トシテ之ニ贊成スルコト能ハスト思フノデアリマス、斯様ナル次第デアッテ矛盾ノアル所ハスッカリ取ッテシマッテ、先刻總理大臣ノ仰セニモ斯ノト仰シヤッタガト其聯絡ヲ切ッテ仕舞ッテ、單語ヲ以テ御尤モ御尤モト拵ヘタモノデアリマス、此事ニ付テハ委員諸君モ御承知デアリマセウガ、先刻私ニ備ハラムコトヲ求メラレマシタ、殊ニ光榮ヲ與ヘラレタ所ノ委員長柳澤伯爵ニ於テモ耳ニ留ッテ御出ダラウト思ヒマス、而シテ柳澤伯爵ノ取捨選擇ノ御宣告ハ甚ダ公平ヲ闕イテ居ルト申シテ差支ナイ、斯様ナコトヲ云フト、是ハ伯爵ニ對シテ人身攻撃ノヤウニ御聽取ニナルナラバ、議長ノ制止ヲ請ヒタイノデアリマスガ、私ハ熱誠ニ備ハラムコトヲ求ムル趣意ヲ表シテ云フノデアアル、能ク御願ミナサッタラ宜シイト思フ、而シテ又金額ノ如キニ至ッテハ滿洲鐵道……ノ一千萬圓ト云フノハ唯議場デ聽イテ居ルト一千萬圓ト云フト、非常ニ大キイヤウニ聞エマスガ、併ナガラ其實二百五十萬圓デアリマス、此二百五十萬圓ト云フモノハ私共ガ、生レテ來テ社會ヲ覺エテ數字ヲ覺エタトキノ二百五十萬圓ト、小學校ニ行ッタトキノ二百五十萬圓ト、今日ノ二百五十萬圓ト違フト云フコトヲ私ハ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、斯ルガ故ニ僅ニ此二百五十萬圓デアアルガ、政府委員ノ説明スル所ニ依レバ正金銀行ニ貸付ヲシテ居ッタモノヲ、ソレヲ讓渡スカラ何ニ此運用ヲ旨ク付ケルト云ハレテ居リマスガ、正金銀行ノ貸付ヲ運用スルノデ行クナラバ、何故二百五十萬圓ノモノヲ設立スル必要ガアルカ、又ソレヲ召上ゲテ仕舞ッテ僅ニ二百五十萬圓ノモノヲ持ッテ行クト損ガ行キマス、何故損ガアルカト云ヒマス、先ヅ二百五十萬圓デ滿洲銀行ヲ立ッタナラバ之ガ爲ニ矢張り百萬圓ノ創立費ガ要ルノデアリマス、サウスルト百萬圓シカ殘ラヌヤウニナルト云フコトハ明カデアリマス、サウシテ二百五十萬圓正金銀行ガ貸シタ所ノモノハドウナルカ位ノコトハ分ルコトト思フ、若シ巧妙ナル若槻君ノ如キモノガ館細工同様ニ旨クアラレタナラバ、ソレハ又私ノ考ヘテ居ルヨリ良イモノガアルカ知ラヌ、若シアルトシタナラバ假ニ二百五十萬圓ハ實際是ニ總裁副總裁ト云フヤウナモノヲ置キ、養育院ヲ拵ヘテ多頭分立ヲ明カニスルト云フコトハドンナモノデアアルカ、チヨットモ活キタ仕事トハ思ハレ

ス、私ノ云フ精神調和ト云フコトニ付テハ必シモ日支銀行ノミノ法案ヲ云フ
ノデハナイ、日支銀行其モノ、滿洲銀行其モノハ財政政策ノ根本ニ觸レテ居
ト云フコトハ委員會デモ申シテ居ルノデアル、財政政策ノ根本問題ニ觸レテ居
ル所ノモノハ更ニ東洋政策ノ根本問題ニ觸レルノデアル、又世界政策ノ大勢
ニ觸レルノデアル、故ニ木ヲ數ヘテ林ヲ見ザル所ノ立論ト云フ所ノモノヲ以
テ容易ニ之ヲ決著スルコトハ甚ダ私ハ要ヲ得ナイト考ヘテ居ルノデアル、故
ニ日露貿易近來ノ形勢ニ對シテ日露兩國ノ經濟上、財政上ノ近來ノ狀態ニ對
シテ何等カ政府ガ認メラレタカト云フコトヲ尋ネテ見ルト、其言葉ガ間々籠
テ居リマス、日露貿易、日露銀行、左様ナモノハ之ニ關係ナイト仰シヤル方ガ
アルカモ知ラヌガ、私ハ貴族院議員トシテ私ハ左様ナ方ハナイト考ヘル、是ハ
岐路ニ這入ルヤウデアリマスガ、此一言ヲ添ヘテ木ヲ數ヘテ林ヲ見ザルノ政
府ノ政策ニ付テ反省ヲ促シタイト考ヘルノデアリマス、今日ノ經濟的世界政
策ノ競争ニアリテハ木ヲ數ヘテ林ヲ見ザル政策ハイカヌノデアリマス、故ニ
是等ノコトニ付テノ調査如何、苟モ財政政策、東洋政策ノ根本ト相觸レテ居
リマス、又經濟的世界政策ノ全體ニ此問題ガ觸レテ居ルト云フコトヲ考ヘタ
ナラバ、何故ニ政府ハソレ等ニ付テ調べタ所ノモノヲ明カニスルコトガ出來
ナイノデアルカ、調査ガシテナイ、之ヲ以テ非常ニ調査ガ出來テ結構ナモノ
デアルト若槻君ガ云ハレルノデアリマス、サウシテ今後案ヲ出スト雖モ之ヲ
改正スル所ハナイ、アルトシテモ少シシカナイダラウト云ハレマス、成ルホ
ドソコノ所ヲ陳述セラレルノハ極メテ演說ハ洵ニ良クシテ畫人ガ畫ヲ描イタ
ヤウデアリマスガ、眼睛ヲ點ジナカッタト云フコトガ分ッタノデアリマス、斯
ノ如キコトハ重大ナル病根ヲ此案ノ中ニ遺サシメテ、而シテ之ヲ構ハズニ議
決スルコトニナリマスカラ、本員ハ反對スルノデアリマス、多言ヲ要シマセ
ヌガ、諸君ニ於テ妄ニ私ガ此言論ヲ根據ノナイ所ニ置イテ申上ゲタヤウナ委
員長ノ御答メニ對シテ、或ハ言葉ガ足ラズシテ意ヲ盡スコトガ出來スカモ知
レマセヌケレドモ、時間ヲ惜ミマスガ爲ニ是ダケノコトヲ申述ベテ置キマス
○古市公威君 チョット簡單ニ一言イタシタイト思ヒマスガ、此席カラ述ベル
コトヲ御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○古市公威君 此問題ニ付テハ私ハ密接ナル關係ガアルト云ッテ宜イ位ナコ
トデゴザイマスカラ、實ハ何モ申述ベヌ積リデアリマシタガ、先刻高橋君ノ

御論ノトキニモ、亦若槻君ノ御論ノトキニモ東亞興業會社ノコトガ出マシタ、
ソレデ此場合ニ於テ私ガ一言ヲ申シテ明カニシテ置キタイト思フノデアリマ
ス、東亞興業會社ハ今日ハ何事ヲシタカセヌカト云フコトハ諸君ノ判斷ニ任
セル外ハナイガ、此席ニ於テ私ガ東亞興業會社ヲ辯護スル譯デモ何デモナ
イ、唯若槻君ガ東亞興業會社ノ資金ガ缺乏スルガ爲ニ仕事ガ出來ヌノデア
ルト云フコトヲ述ベラレタ、是ハ事實ニ相違ナイ、十分ニ出來ヌト云フコトハ
其通りデアアル、今日問題ニナッテ居ル法案デモ其目的ハ十分ニ達シ得ルカト
云フコトハ第一問題デヤト思フ、實際支那ニ於テ或ル仕事ヲシヤウト思フニ
ハ他ニ方法ガアルト自分ハ考ヘル、是ヨリヨリ良イ方法ガアルト考ヘルノデ
アルガ、併ナガラ若槻君ノ御話ノヤウニ此案モノノ方法トシテ認メルノデア
リマスガ、決シテ此委員ノ多數諸君ノヤウニ此案其モノニハ反對ト云フデハ
ナイガ、是ニハマダ一考フベキ點ガ澤山アル、ソレヲ今強ヒテヤル程ノ場合
デアアルカドウカハ問題ダト思フ、是ハ一應御考ヘニナッテ宜カラウト思フ、
而シテ考ヘルニ最モ適當ナ時機デアラウト思フノハ今ハドウ云フ時節デア
カト云フコトヲ考ヘレバ直グ分ル、合辦事業ハ此場合ニハ起セナイト考ヘ
ル、其證據ハ幾ラデモアルト思フ、デアアルカラ丁度是カラ此法案ニ付テ研究
シテ、此次ノ議會ニ御出シニナッテ丁度宜イ位デアアル、今此案ヲ成立タセ
ガ、連モ此次ノ議會マデニハ出來ヤセヌト思フ、此點ニ於テ此案ニ贊成ノ御
方モ御考ヘニナッテ、篤ト御研究ニナッテナラバ宜カラウト思フ、私ハ延期ノ
意味ヲ以テ委員會ノ說ニ贊成スルノデアリマス

○平山成信君 此際私ハ討論終局ノ動議ヲ提出イタシマス

〔贊成〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 平山君ノ討論終局ノ動議ニハ定規ノ贊成ガアッ
ト認メマス、平山成信君ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、茲ニ諸君ニ御諮リヲ致シタイ
コトガゴザイマス、日支銀行法案竝ニ滿洲銀行法案ハ一括シテ議題トシ、採
決シテ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クベ
シトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、故ニ兩案ハ否決セラレマシタ、御報告ヲ致スコトガゴザイマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ政府提出簡易生命保險法案兩院協議會成案ヲ受領セリ

○議長(公爵德川家達君) 唯今御報告ヲ致サセマシタ所ノ簡易生命保險法案兩院協議會ノ成案ヲ衆議院ニ於テ可決セラレタ趣デアリマス、付テハ此際議事日程ヲ變更イタシマシテ、成案ニ付テ會議ヲ開キタイト存ジマス、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 同案ノ會議ヲ開キマス

本院ハ簡易生命保險法案兩院協議會ノ成案ヲ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

大正五年二月二十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長島田三郎

簡易生命保險法案

右別冊ノ通兩院協議會成案成立セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十八日

簡易生命保險法案兩院協議委員會議長

伯爵林 博太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

簡易生命保險法案兩院協議會成案

第三條第二項中「資格、」ヲ削ル

其ノ他ハ貴族院議決案ノ通トス

○議長(公爵德川家達君) 協議會議長ノ登壇ヲ促シマス

〔伯爵林博太郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵林博太郎君 是ヨリ簡易生命保險法案兩院協議會ノ經過ヲ簡單ニ御報

貴族院議事速記録第十八號

大正五年二月二十八日

議長ノ報告

簡易生命保險法案兩院協議會成案 會議

三七九

告ニ及ビマス、本日午前九時兩院協議委員會ハ協議室ニ集會イタシマシテ、先

ヅ議長ノ抽籤ヲ行ヒ、而シテ後直チニ正式ノ會議ニ移リマシタ、此法案ヲ協議スルニ當リマシテ、慎重ニ審議スルハ勿論、以心傳心ノ間ニ懇談ヲ開キマシテ、熟慮ニ熟慮ヲ重ネタ後ニ於テ正式ニ會議スル方ガ穩當デアラウト云フコトノ話ガ出マシテ、ソレカラ懇談會ヲ開キマシタ、而シテ後更ニ正式ノ會議ニ移リマシタ、然ル所衆議院側協議員ヨリ修正ノ動議ガ提出セラレマシタ、其内容ヲ簡單ニ朗讀シテ見マスルナラバ、「第三條ノ第二項中資格ヲ削リ、其他ハ貴族院決議案ノ通りトス」ト云フ動議ガ出マシタ、是ガ成立ヲ致シマシタ、此案ガ長イ間熟慮ニ熟慮ヲ重ネタノト、尙ホ懇談會ニ於テ十分ニ詮議ヲ致シマシタ後デアリマスカラ、別段ニ討論意見ノ交換ナゾハ此際ニ於テハ省キマシタ、直チニ正式ノ規定ニ依リ、無名投票ニ依テ採決ニ移リマシタ、其結果六ニ對スル十三ノ多數ニ依リ、即チ此修正ノ案ガ成立イタシマシタ、極ク平タク申シマスレバ昨日貴族院ニ於テ決セラレタル修正案ノ内容ガ二通りアル中デ、前ノ資格ト云フ方面ヲ削ッテ二百五十圓以下ト云フ方面ヲ活シタト云フコトニナリマスノデゴザイマス、是ニテ十分御分リニナッタラウト考ヘマスカラ、協議會ノ報告ヲ終リマス

○子爵岡部長職君 唯今林伯爵ヨリ兩院協議會ノ經過並ニ結果ニ付キマシテノ明瞭ナル御報告ヲ承リマシテゴザイマス、兩院協議員諸君ニ於カレマシテハ朝來最モ慎重ナル御調査ヲ遂ゲラレマシテ、貴衆兩院側ノ諸君ニ於カレテハ胸襟ヲ披イテ、懇談的ニ此事ヲ御諮リニナリマシタト云フコトハ洵ニ喜ブ所デゴザイマス、而シテ其協議ノ結果ト致シテ、唯今林議長ヨリノ御報告ノ結果ヲ拜承イタシマシテ、今朝來協議委員諸君ノ御苦勞ニ對シマシテハ實ニ感謝ノ至ニ堪ヘマセヌ譯デゴザイマス、既ニ衆議院ニ於テハ此案ヲ可決サレマシタル趣唯今報告ヲ得マシテゴザイマス、此場合ニ於キマシテハ貴族院ニ於テモ此案ヲ可決スル外、途ハアリマスमित存ジマス、依リマシテ本員ハ御報告ニ相成リマシタ所ノ成案ヲ滿場一致ヲ以テ可決スベキモノト確ク信ジマス、滿場ノ諸君ニ於キマシテハ何卒本員ノ發議ニ御同意アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵田健治郎君 唯今此案ノ成立ヲ希望スルト云フ岡部子爵カラ御申述ニナリマシタ通り、私共ハ全ク御同感デゴザイマスカラ、何卒此案ノ通り可決セラレムコトヲ希望イタシマス、即チ岡部子爵ノ説ニ賛成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言ガナケレバ採決ヲ致シマス、成案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、諸君ニ御諮リ致スコトガゴザイマス、豫算委員長ヨリ唯今會議中豫算委員會ヲ開キタイト云フ趣デゴザイマス、退席ヲ許可シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、尙ホ御諮リヲ致シタイコトガゴザイマス、昨日第二讀會ヲ延期ニ相成ッテ居リマスル、簡易生命保險特別會計法案ノ第二讀會ヲ此際議事日程ヲ變更イタシマシテ開キタイト存ジマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 同案ノ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス……全部原案通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ノ第二讀會ヲ終リマシタ

○伯爵林博太郎君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵中川興長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第四、特許法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第五、實用新案法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、本日モ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

特許法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

特許法中改正法律案

特許法中左ノ通改正ス

第三十條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五條第二號ノ規定ニ依リ實用新案權ノ存續中得タル特許權ノ存續期間ハ實用新案權ノ存續期間ヲ通シテ十五年トス

同條第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

第六十九條第一項第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ特許公報ニ掲載シタル日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

實用新案法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

實用新案法中改正法律案

實用新案法中左ノ通改正ス

第十八條第一項第一號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ實用新案公報ニ掲載シタル日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ

在ラス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガナケレバ第四、第五ノ兩案ハ同一委員ニ付託ヲ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 委員ノ氏名ヲ朗讀イタサセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

特許法中改正法律案外一件特別委員

伯爵川村鐵太郎君 子爵片桐貞央君 子爵清岡長言君

荒川義太郎君 男爵竹腰正巳君 男爵千秋季隆君

男爵本多政以君 磯部四郎君 細谷巖太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 第六、重要物産同業組合法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

重要物産同業組合法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

重要物産同業組合法中改正法律案

重要物産同業組合法中左ノ通改正ス

第十一條ノ二 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ハ定款ノ規定ニ依リ同業組合ニ於テハ組合員ノ負擔トシ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル組合ノ負擔トス

同業組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ組長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ同業組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徵收金ニ次クモノトス

本條市町村トアルハ市制、町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセスケレバ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

重要物産同業組合法中改正法律案特別委員

子爵冷泉爲勇君 子爵有馬頼之君 前田正名君

男爵平野長祥君 男爵藤大路親春君 藤田四郎君

石渡敏一君 桑田熊藏君 松尾廣吉君

○議長(公爵徳川家達君) 第七、郡制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會
郡制中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

衆議院議長島田三郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

郡制中改正法律案

郡制中左ノ通改正ス

第三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條ニ左ノ二項ヲ加フ

議員定員ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第三十六條ノ例ニ依ル

前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔成瀬書記官朗讀〕

郡制中改正法律案特別委員

伯爵清棲家教君 子爵松平康民君 子爵松平乘長君

男爵北島 齊孝君 折田 彦市君 岡 喜七郎君
男爵南岩倉 具威君 上松 泰造君 木本 源吉君

○議長(公爵德川家達君) 此際諸君ニ御諮リ致スコトガゴザイマス、衆議院ヨリ送付セラレマシタル司法代書人法案、酒造税法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開ク爲ニ議事日程ノ追加ヲ致サウト存ジマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 兩案ノ第一讀會ヲ開キマス

司法代書人法案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長島田三郎

司法代書人法

第一條 司法代書人ハ當事者ノ囑託ニ依リ通常裁判所又ハ檢事局ニ直接提出スル文書ノ作成ヲ業トスルモノトス

第二條 司法代書人タラムトスル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

一 日本臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二 司法代書人試験規則ニ依リ試験ニ及第シ又ハ司法代書人試験委員ノ
詮衡ヲ經タルコト

第三條 司法代書人試験及詮衡ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第四條 左ニ掲クル者ハ試験又ハ詮衡ヲ要セスシテ司法代書人タルコトヲ得

一 三年以上裁判所書記ノ職ニ在リタル者又ハ之ト同等以上ノ職ニ在リタル者

二 司法大臣ノ指定シタル法律學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

第五條 左ニ掲クル者ハ司法代書人タルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ若ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル

トキハ此ノ限ニアラス

二 破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者若ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

三 禁治產者及準禁治產者

四 懲戒ノ處分ニ依リ免官、免職若ハ除名セラレタル者又ハ司法代書人法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職若ハ除名後二年ヲ經過セサル者

第六條 司法代書人ハ作成セシ文書ニ付釋明ノ義務ヲ負フ

第七條 司法代書人ハ訴訟事件ニ關與シ又ハ報酬ヲ得テ鑑定ヲ爲シ若ハ辯護士ノ紹介ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 司法代書人ハ其ノ作成シタル文書ヲ囑託者ニ讀聞カセタル後其ノ末尾ニ署名捺印スヘシ

第九條 司法代書人ハ正當ノ理由ナクシテ裁判所若ハ檢事局ノ命シタル文書ノ作成ヲ拒ムコトヲ得ス當事者ノ囑託ニ依ル場合亦同シ

第十條 司法代書人ハ自己若ハ第三者ノ名義ヲ以テ營利事業ヲ營ムコトヲ得ス但シ司法代書人會ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 裁判所ハ司法代書人ニ非スシテ司法代書人ノ事務ヲ常業トスル者ノ作成シタル文書ヲ受理セサルコトヲ得此ノ處分ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス但シ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 司法代書人ハ司法代書人名簿ニ登錄セラルルコトヲ要ス

第十三條 各地方裁判所ニ司法代書人名簿ヲ備フ

第十四條 司法代書人ハ其ノ氏名ヲ登錄シタル地方裁判所ノ所屬トス

第十五條 司法代書人ノ定員及登錄ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第十六條 司法代書人ハ所屬地方裁判所ノ管轄地内ニ事務所ヲ定メ之ヲ所屬地方裁判所檢事局ニ届出ツヘシ

第十七條 司法代書人會ハ所屬地方裁判所檢事正ノ監督ヲ受ク

第十八條 司法代書人會ハ其ノ會則ヲ定メ所屬地方裁判所檢事正ヲ經由シテ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

司法代書人ハ所屬司法代書人會ノ會則ヲ遵守スヘシ

第十九條 司法代書人ハ司法代書人會ニ加入シタル後ニ非サレハ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條 司法代書人ニシテ本法又ハ司法代書人會會則ニ違反シタル所爲アルトキハ司法代書人會ハ懲戒ヲ求ムル爲所屬地方裁判所檢事正ニ申告スヘシ

地方裁判所檢事正ハ司法代書人會ノ申告ニ依リ又ハ職權ヲ以テ懲戒委員會ノ審査ヲ要求スヘシ

第二十一條 司法代書人ノ懲戒ニ付テハ本法ニ定ムルモノノ外文官懲戒令中判任官ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十二條 懲戒罰ハ左ノ四種トス

一 譴責

二 百圓以下ノ過料

三 一年以下ノ停職

四 除名

附則

現在ノ代書人ニシテ裁判所ノ認可ヲ經タル者ハ本法施行ノ日ヨリ六十日以内ニ司法代書人名簿ニ登錄ヲ請フトキハ試験又ハ詮衡ヲ要セスシテ司法代書人タルコトヲ得

本法施行ノ地域ハ司法大臣之ヲ定ム

本法ハ大正五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

酒造稅法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

大正五年二月二十七日

貴族院議長公爵德川家達殿

酒造稅法中改正法律案

酒造稅法中左ノ通改正ス

第一條ノ六第二項第四號中「稗若ハ甘藷」ヲ「稗、甘藷若ハ馬鈴薯澱粉ノ殘滓」ニ改ム

附則

本法ハ大正五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵德川家達君) 兩案ノ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

司法代書人法案特別委員

子爵藤井 行徳君 子爵本多 實方君 子爵本多 忠敬君

男爵千家 尊福君 倉富勇三郎君 男爵伊丹 春雄君

男爵佐竹 義準君 森山 茂君 鎌田 勝太郎君

酒造稅法中改正法律案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵八條 隆正君 男爵伊東 義五郎君

男爵辻 健介君 男爵藤堂 高成君 西村 亮吉君

杉田 定一君 石橋 謹二君 高崎 三重郎君

○議長(公爵德川家達君) 唯今選定イタシマシタ特別委員會ニ於テ正副委員長ノ互選ヲ結了セラレマシタナラバ、其氏名ヲ成ルベク速ニ議長ヘ御申出ヲ願ヒマス、議事ノ都合上此際再ビ休憩ヲ致シマス

午後三時三十八分休憩

午後六時四分開會

○議長(公爵德川家達君) 前刻ニ續イテ開會イタシマス、第八、質屋取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、第九、古物商取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

質屋取締法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十七日

右特別委員長

侯爵大炊御門幾磨

貴族院議長公爵德川家達殿

古物商取締法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十七日

右特別委員長

侯爵大炊御門幾磨

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔馬屋原彰君演壇ニ登ル〕

○馬屋原彰君 唯今議題ニ上リマシタニツノ法案ハ相互密接ノ關係ヲ有シテ居リマスガ故ニ、便宜上此二案ヲ合シマシテ茲ニ本員ヨリ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告ニ及ビマス、ソレデ質屋取締法中改正法律案及古物商取締法中改正法律案ハ何レモ現行ノ或ル一部分、即チ或ル條項ノ規定若クハ字句ノ改正デアリマシテ、極メテ簡單ナ法案デアアルノデアリマス、去リナガラ其改正ノ事項タルヤ現在ノ條文規定等ニ對照シテ見マスルト、或ハ平衡ヲ得ザルモノモアル、或ハ警察權施行ノ範圍ヲ縮小スルナキ能ハザルモノガアルノデアリマス、ソレデ再三委員會ヲ開キ、政府委員ノ意見モ聞キマシテ反復討議ノ結果、全會一致ヲ以テ此ニ此二法案トモ否決シタル次第デアリマス、デ其理由ノ概略ヲ申述べマスレバ此二法案ノ如キ改正ニ付テハ未ダ取締上ノ不備ヲ補フニ足ラズ、又當業者ノ希望ヲモ満足セシムルニ足ラヌト認メマシテ、段段政府委員ニモ問答ヲ重ネマシテゴザイマスガ、政府委員ニ於テモ同様ノ意見デアリマシテ、尙ホ十分此法案ニ付テハ改正ノ點ニ付テ勘考スベキ餘地ガアルト斯ウ云フコトデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテモ更ニ進ンデ、然ラバ此二法案ニ對シテハ政府ノ今後ノ考ハ如何デアアルカト云フコトヲ尋ネマシテゴザイマス、トコロガ政府委員ハ來期ノ議會ニハ政府ヨリ完全ナル改正案ヲ提出イタシタイ積リデアアルト云フコトヲ言明サレタノデアリマス、ソコデ委員會ノ諸君ニ於カレマシテモ、我々ニ於キマシテモ成ルベク改正ノ完全ヲ期スル爲ニ、尙ホ來會期ニ政府ヨリ提案ヲ實行サルコトノ希望ヲ述べ、且ツ前申シマスル通り政府委員ノ言明ヲ條件ト致シマシテ、即チ全會一致ヲ以テ此二法案トモ今回ハ之ヲ否決スルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、ドウカ此委員會ノ決議ヲ御賛成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ付テ別ニ發言者モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者一人モナイト認メマス、故ニ本案ハ否決セラレマシタ……議長ガ申落シマシタガ、唯今委員長ガ第八、第九、兩案東ネ

テ報告セラレマシタカラ、勿論兩案ガ議題トナッテ居ルト諸君ニ於テモ御承知デアッタト考ヘマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 第十、鐵道敷設法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

鐵道敷設法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十七日

右特別委員長

伯爵清閑寺經房

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵清閑寺經房君演壇ニ登ル〕

○伯爵清閑寺經房君 唯今議事日程ニ上リマシタ所ノ鐵道敷設法中改正法律案ノ特別委員會ノ内容ヲ御報告イタシマスルガ、抑、此改正案ノ趣旨タルヤ秋田縣下ノ横手ト申シマスル所カラ巖手縣ノ黒澤尻ト申シマスル所ニ至リマスル約三十八哩間ハ鐵道敷設法ニ依リマシテ豫定線トナッテ居ルトデゴザイマス、然ルニ此度ソレヲ變更イタシマシテ、其間ニ輕便鐵道ヲ敷設シタイト云フ趣意ニ此案ハ外ナラヌノデアリマス、其改正ノ理由ト致シマスル所ハ御承知デモゴザイマセウガ、東北地方ハ我が國內ニ於キマシテ他ノ地方ヨリモ比較的ニ礦物ニ富ンデ居ル所デゴザイマス、殊ニ此横手附近若クハ黒澤尻附近ハ即今ニ於キマシテモ既ニ知ラレテ居リマスル所ノ鑛山ガ百三十六、鑛區ノ坪數ニ致シマスルト五千萬坪ニ互ルサウデアリマス、尤モ此中デ未ダ試掘サレテ居ラナイ場所モ澤山ゴザイマスルニモ拘ラズ、目下其地方カラ致シマシテ出マスル所ノ礦物ハ決シテ少クナイノデゴザイマス、ソレデアリマスルカラ折角出ダシマシタ所ノ此少カラヌ礦物ヲ運搬スルコトガムヅカシイノデ、當業者ハ大ニ不便ヲ感ジ又多少損失ヲ致シテ居ルト云フ狀態デゴザイマス、斯様ナ譯デゴザイマスルガ、此當業者ノ損害若クハ不便ヲ感ズルコトハ當業者ソレ自身ノ損害不便ノミナラズシテ、是ハ結局國家ノ矢張り不利益ト云フコトニナルノデゴザイマスカラ、一日モ何トカシナケレバナラヌ狀況デアリマス、デア

リマスルノ速ニ、本鐵道カラ比較イタシマスルト經費モ少ク且又速ニ落成イタシマスル所ノ輕便鐵道ヲ拵ヘマシテ、ソレニ依ッテ此出マス所ノ礦物ヲ精煉所若クハ需要地ヘ供給スル所ノ便利ヲ一日モ早クシテ、一日モ國家ノ損害ト云フコトヲ豫防シタイト云フ趣意ニ過ギヌノデゴザイマス、委員會ハ昨日本會ノ會議ノ休憩中ニ開會イタシマシテ、例ノ通り政府委員ノ説明ヲ承リ、且又委員カラ多少ノ質問モアリマシタガ、唯今大要申上ゲタヤウナ次第デ、極メテ簡單明瞭ナルモノデゴザイマスカラシテ、直チニ此法案ヲ可決スルコトニ決定イタシマシタ、尙ホ終ニ臨ンデ申上ゲテ置キマスガ、是ハ御承知デモゴザイマセウケレドモ、抑、此案ハ衆議院ノ提出ニ係ッテ居ルモノデゴザイマス、此案ガ先キニ出マスルヤ否ヤ政府當局ニ於キマシテハ、直チニ鐵道會議ヲ召集シテ其會議ノ意見モ徵セラレタサウデアリマスガ、同會議ニ於テモ別ニ反對ノ意見モナカッタト云フコトデゴザイマス、旁、政府ニ於テモ本案ニ付テ賛成ヲ表シテ居ラレルヤウナ次第デゴザイマスカラシテ、且又大體御聞及ビノ通り、至ッテ此法案ハ明白且簡單ナルモノデゴザイマスカラ、ドウカ讀會ヲ省略セラレマシテ、速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵目賀田種太郎君 本員ハ政府委員ニ對シテ此案及鐵道ノ大體ノ方針ヲ簡單ニ承リタイト思ヒマス、第一ニ鐵道敷設法改正案ヲ提出セラレマシテ、是ハ衆議院ノ提出ニ係ルト雖モ是位ノコトナラバ其當時政府ニ於テ之ヲ考慮サレテ然ルベキヤニ存ジマスガ、其時ニハ急要ヲ認メラレナカッタノデアアルカト云フコトヲ第一ニ承リタイ、第二ニハ既ニ此議會ニハ僅力數日前ニ鐵道敷設法ノ改正ヲ提出セラレマシテ、其時分既ニ定マッテ居ルモノノ外ニ何故ニ斯ノ如ク俄ニ又更ニ改正ヲ要セラレルノデアリマスカ、承ルニ是ハ誠ニ急速ニ議セラレテ、何カ一夜ニ議了シタト云フヤウナコトデアリマス、即チ鐵道ノ調査會ニ於テモ非常ニ急ガレタコトノヤウニ承リマシタガ、餘リ急變ノヤウニ存ジマス、之ヲ承リタイ、ソレカラ第三ニ一體輕便鐵道ト云フモノハ一ツハ幹線ノ營養線ノヤウニ思ヒマスガ、斯ノ如キモノヲ……斯ノ如キモノハ營養線デハナイト本員ハ思ヒマスガ……斯ノ如キモノヲ將來ドコマデモ國有ニセラルル方針デアアルカ、之ヲ承リタイ、一體輕便鐵道ト云フモノハドノ位ノ程度ニ於テ國有トセラルルモノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラ第四ニ昨今ノ總理大臣モ豫算委員會ニ於テ、鐵道ノ大體ノ方針ヲ場合ニ依レバ議會ノ開會中ニモ之ヲ示スト云フヤウナコトデアリマシタ、其事ニ付テ別ニ

本員ハ苦情ヲ述ベルノデハアリマセス、併ナガラ是ハ既ニ調査セラレテ近クニ發表セラルルコトト存ジマス、然ルニ又世上傳フル所ニ依リマスルト何カ……(聽取シ難シ)竝ニ廣軌鐵道ト云フモノガ貴族院ノ希望デアルト云フコトノ爲ニ、其點ニ向ッテ調査セラレテ居ルヤウニ承リマス、然ルニ本院ノ豫テ論ジテ居ル所ハ敢テ廣軌其モノデハナイ、廣軌モゴザイマスガ、大體鐵道方針ノ確定ト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、故ニサウ云フ大體鐵道交通ノ方針ナドヲ定ムルニ當ッテ、是ハ廣ク矢張り天下ノ公論ヲ徵シ、如何様ニスルガ宜イカト云フコトヲ各方面ノ意見ヲ徵シテ定メラレテ然ルベキモノト存ジマス、曩ニ明治四十三年ニ各方面ノ人ヲ集メテ調査セラレタト思ヒマスガ、今日デハ大分事情モ變ッテ居リマスカラ、若シ更ニ鐵道交通ノ方針ヲ決定セララルモノナラバ是ハ一般ノ希望ヲ確メラレタ方ガ然ルベキヤニ存ゼラレマスガ、若シ然ラズシテ之ヲ決メラレムトスルトキニハ多少ノ議論ヲ見ルコトト存ジマス、殊ニ鐵道ノ問題ハ財源ニ關スルコトデアリマス、是ハ餘リ急ニ俄ニ定メララルコトハ宜シクナイト存ジマスガ、一體是等ノ方針ニ付テハドウ云フ政府ハ意志デアアルカ、其意志ノ決ラヌ中ニ斯ノ如ク輕便鐵道ニ變ヘラレル、一旦決ッテ居ル所ヲ輕便鐵道ニ變ヘラレルト云フガ如キ、甚ダ不定ナルガ故ニ一ヨリ四マデノ問題ヲ伺ヒマス、政府委員ニ於テ簡單デ宜シウゴザイマス、説明ヲ願ヒタイ

「政府委員添田壽一君演壇ニ登ル」

○政府委員(添田壽一君) 第一ノ御尋ハ本案ヲ提出スルナラバ何ガ故ニ以前皆樣ニ敷設法ニ付テ御協賛ヲ御願ヒ申シタトキニ出サナカッタカ、斯ウ云フ御尋ニ解釋イタシマス、大體既ニ提案ヲ致シマシテ御協賛ヲ經マシタ以外ニ、日本ノ鐵道ノ方針ニ付テハ慎重ナル調査ヲ下シマシテ、全國ニ通ジテ宜シク考ヲ定メマシテ、追ッテ皆樣ニ御協賛ヲ煩ハシタイト思ッテ居ッタ爲ニ、此今問題ニナッテ居リマスル問題ダケヲ引拔イテ提出ヲ致シマシテ……問題ニスルト云フコトヲ致サナカッタノデアリマス、即チ茲ニ御研究ヲ願フト云フコトヲ採ラナカッタノデアリマス、然ルニ本案ハ衆議院ニ於テ提出ヲサレマシタガ故ニ、政府ハ已ムヲ得ズ此問題ダケニ付テ利害ヲ考ヘ、即チ反對スベキ理由ハナイト云フコトデ同意ヲ申上ゲタ次第デアリマス、サウ御承知ヲ願ヒマス、第二ノ非常ニ咄嗟デアルト云フ御尋デアリマス、是ハドウモ已ムヲ得マセス、衆議院ヨリ提出ニナリマシタ案ニ對シテ政府ノ意志ヲ決メマスルニハ、ドウ

シテモ鐵道會議ヲ開催イタシマスノガ至當デアルト云フ所ヨリ、會期モ迫リ日程ニモ程ナク上ルト云フ今日デアリマス故ニ、已ムヲ得ズ受働的ニ急ギマシタヤウナ次第ゴザイマス、第三ノ、本線ハ營養線ニ非ザルヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ將來ノ見込デアリマス故ニ確タルコトハ申上ゲ兼ネマス故ニ、矢張り營養線ト看做シテ可ナルモノト考ヘテ居リマスノデ、既ニ礦物ノ如キ今マデ出デザルモノガ段々出テ參ルト云フヤウナコトニナリマスレバ、即チ他ノ線路ニ對スル營養ノ效用ヲ現ハスモノト信ジテ居ル次第ゴザイマス、第四ノ、鐵道ノ軌幅ノ大體ノ問題ニ付キマシテノ御尋デゴザイマスルガ、是ハ屢々申上ゲマシタ如ク、鐵道院トシテハ今ヤ廟議ヲ願フテ居ル際デゴザイマス、此問題ニ付キマシテハ、私カラ御答ヲスルト云フコトハ満足ニ出來マセヌ、是ハ廟議ノ決スルヲ待ツノ外ナイノデアリマスガ、調査ノ方法ニ付テノ御尋モゴザイマシタカラ、其點ダケヲ申上ゲマス、最早廣軌ト云フ問題ニ付テハ、目賀田男爵モ御承知ノ通り、有力ナル委員ガ選定ニナリマシテ、詳シク御調べニナリマシタ、且ツ報告ノ如キハ實ニ至レリ盡セリト考ヘルノデアリマス、此上調査ト云フコトガ必要デアリヤト云フコトハ私ハ大ニ疑フノデゴザイマス、寧ロ速ニ何レカニ方針ヲ定メラルベキ時期ニ達シテ居ルト云フ考ヲ持ツテ居ル次第ゴザイマス

○水野鍊太郎君 唯今政府委員ノ御答辯ガアリマシタニ付キマシテ尙ホ承リタイ、此案ハ政府ニ於テ十分御調査ノ上、政府カラシテ次ノ議會ニデモ御提出ニナルト云フ方ガ、寧ロ適當ト思ヒマスガ、サウ云フ譯ニハイカナイノデスカ、最早會期切迫ノ際デモアリマスシ、政府ニ於テ總テノ關係ヲ御調査ノ上ニ、此案ノミナラズ總テノモノヲ一緒ニ次ノ議會ニ御提出ニナルガ宜シイト思ヒマスガ如何デアリマスガ、ソレカラ目賀田男爵ノ御問ニ對シテ、營養線ト見テ可ナリト云フ御答デアリマシタガ、確定的ノ事情トシテ收益ヲ有シ利益ヲ見ル線路デアリマスガ、其内容ハ詳シク存ジマセヌケレドモ、寧ロ政府ノ計算カラ云フト、不利益ト云フヤウニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマスガ

「政府委員添田壽一君演壇ニ登ル」

○政府委員(添田壽一君) 此案ヲ次ノ議會マデ延バシテハ如何デアアルカト云フ御尋ノヤウニ承リマシタガ、政府ノ提出シタル案デゴザイマセヌ故ニ、謂ハユル立法權ノ作用ニ一任スル外ハナイト思ヒマス、政府案ナラバ之ヲ延バ

スヤ否ヤト云フ考ヘノ餘地モアリマスケレドモ、如何セム是ハ立法院ノ御提案ト致シマスレバ、其事ニ向ッテ政府ノ意見ヲ以テ左右スルコトハ如何アラムト考ヘマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ、是ハ損ガアル線デハナイカト云フ御尋ノヤウニ伺ヒマシタ、計算ノ上ニハ損ニナリマスケレドモ、殆ド三萬三千圓バカリ損ヲスルト云フ計算ニナルノデアリマス、ケレドモ鐵道ノ問題ヲ決スルニハ、其ノ線ダケノ利害ニ依ッテ決スル譯ニ參リマセヌ、其線デハ損ヲシマシテモ、他ノ線ガ營養ヲ受ケマシテ利益ヲ得ルト云フコトニナリマスレバ、其一部ノ損失ト云フコトハ犧牲ニ供シテ可ナリト考ヘマスノデ、本線ノ如キハ正シク御尋ノ通り、此線ダケニ付キマスレバ損失ヲ見ル計算ガ出マスケレドモ、謂ハユル大體ノ上カラ打算イタシマシテ利益アルモノト考ヘテ同意ヲ表シタ次第デゴザイマス

○水野鍊太郎君 唯今ノ御説明ニ依リマスレバ、政府提出ノ案デナイカラ延バスト云フコトハ出來ナイト云フヤウナ御答デアリマシタガ、是ハ免ニ角政府トシテハ、本年度ニ於テ之ヲ提出スル意志ハナカッタモノト見ナケレバナラスト思ヒマス、其前ニ鐵道敷設法ガ出タノデアリマシタガ、其時ハ此問題ノコトハ何等出テ居ラナカッタ、左様ナ次第デアッテ、又必シモ計算ニ於テ利益ハナイト云フコトデアリマスガ、斯ノ如キ案ハ慎重ノ調査ヲ要スルガ必要ダト考ヘマス、最早數時間ニシテ會期モ終ラムトスル場合デアリマスカラ、願ハクハ私ハ延期ノ趣旨ヲ以チマシテ否決セラルルガ、適當デヤナイカト思ヒマス、私ハ必シモ此案ノ内容ヲ否トスルノデハゴザイマセヌ、單ニ延期ノ意味ヲ以テ否決シタイト云フノデアリマスカラ、此意見ヲ提出イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、清閑寺伯爵ノ讀會省略ノ動議ハ一人ノ贊成者モゴザイマセヌカラ成立シテ居ラスト思ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵清閑寺經房君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○木村誓太郎君 贊成

○子爵前田利定君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クベシトスル清閑寺伯爵ノ動

議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

〔男爵徳川厚君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 徳川男爵ハ何デスカ

○男爵徳川厚君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) マダ二讀會ヲ開キマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ヲ開キマス……委員長ノ報告ニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是ニテ第二讀會ハ終リマシタ

○男爵徳川厚君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通りデ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、報告ヲ致スコトガゴザイマス

〔成瀬書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

特許法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 子爵片桐 貞央君 副委員長 荒川 義太郎君

重要物産同業組合法中改正法律案特別委員會

委員長 前田 正名君 副委員長 子爵冷泉 爲勇君

司法代書人法案特別委員會

委員長 子爵藤井 行徳君 副委員長 子爵本多 實方君

酒造税法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 西村 亮吉君

本日豫算委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)修正報告書

大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)可決報告書

大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)可決報告書

大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第四號)可決報告書

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) (外務省所屬借料ノ部可決、大藏省所屬日支銀行債券保證、滿洲銀行債券保證ノ部否決) 報告書

大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第五號)可決報告書

本日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

商業會議所法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 豫算委員長ヨリ報告ニ接シマシタ豫算案六案ノ會議ヲ、議事日程ヲ追加イタシマシテ、此際議シマシテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 付テハ豫算案六件ノ會議ヲ開キマス、豫算委員長報告、

一大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十八日

豫算委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵徳川家達殿

(小字ハ豫算委員會ノ修正文、——ハ同削除ノ符號ナリ)

豫算

第一條 大正五年度歳入歳出追加額ヲ各千貳百六拾八萬千九圓ト定ム其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルヘシ

甲號

歳入臨時部

第十一款 前年度繰入金 金百六拾八萬千九圓 四拾參萬千七百七拾五圓

第一項 前年度繰入金 金百六拾八萬千九圓 四拾參萬千七百七拾五圓

歳入臨時部合計金千貳百六拾八萬千九圓 四拾參萬千七百七拾五圓

歳出臨時部

大藏省所管

第十三款 銀行設立準備費 金六萬貳千參百參拾四圓

第一項 日支銀行設立準備費 金參萬貳千六百七拾貳圓

第二項 滿洲銀行設立準備費 金貳萬九千六百六拾貳圓

第十四款 銀行補助 金拾八萬七千五百圓

第一項 日支銀行補助 金拾貳萬五千圓

第二項 滿洲銀行補助 金六萬貳千五百圓

第十五款 大禮記錄編纂諸費 金參萬千九百八拾參圓 三

第一項 大禮記錄編纂諸費 金參萬千九百八拾參圓

第十六款 官業整理調查費 金七千四百六拾四圓 四

第一項 官業整理調查費 金七千四百六拾四圓

第十七款 元歩入會社救恤金 金八萬圓 五

第一項 元歩入會社救恤金 金八萬圓

大藏省所管合計金千五百五拾六萬九千貳百八拾壹圓 參拾壹萬九千四百四拾七圓

歳出臨時部合計金千貳百六拾八萬千九圓 拾貳萬五千八百四拾壹圓

歳出總計金千貳百六拾八萬千九圓 四拾參萬千七百七拾五圓

丙 號

大藏省所管

大禮記錄編纂諸費 歳出臨時部第十五款大禮記錄編纂諸費第一項 三

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)
右案中外務省所管(地所家屋借料)ノ部ヲ可決シ大藏省所管(日支銀行債券

保證、滿洲銀行債券保證)ノ部ヲ否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
大正五年二月二十八日

豫算委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵德川家達殿

一大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

一大正五年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第三號)

一大正五年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第四號)

一大正五年度歳入歳出總豫算追加案(第五號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正五年二月二十八日

豫算委員長

子爵岡部 長職

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵岡部長職君演壇ニ登ル〕

○子爵岡部長職君 議題ニ供セラレタル大正五年度歳入歳出總豫算追加案第三號外五件中、次ノ修正及否決ヲ爲シ、他ハ總テ衆議院議決ノ通り可決スベキモノト議決イタシマシタ、修正ノ分ニ付キマシテ申述ベマス、大正五年度歳入歳出總豫算追加案第三號中、歳出臨時部大藏省所管第十三款銀行設立準備費及第十四款銀行補助、此金額合計二十四萬九千八百三十四圓、是ハ本日本院ニ於テ否決セラレマシタル日支銀行法案及滿洲銀行法案ニ關スルモノデアリマスルヲ以テ、之ヲ自然ノ結果ト致シテ削除イタシマシタノデアリマス、右ノ修正ニ伴ヒマシテ歳入臨時部第十一款前年度繰入金ヨリ前述ノ額ヲ削除イタシマシタ、否決ニ付キマシテ申述ベマス、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追加第二號中、一般會計ノ大藏省所管日支銀行債券保證、滿洲銀行債券保證ハ前述セルモノト同一ノ理由ヲ以テ否決イタシマシタ、一ノ警告的希望ヲ以テ發議サレタル委員ガアリマシテ、是ハ豫算委員會ニ於テ認メタルモノデアリマス、政府ハ此會期切迫ノ時ニ際シ斯ク多數ノ追加豫算

案ヲ提出セラレタルハ豫算ノ審査上大ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ將來ハ十分ナル注意ヲ加ヘラレムコトヲ望ム」是ダケデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガゴザイマセネバ、唯今委員長ノ報告セラレマシタ豫算案六件ヲ一括イタシテ議題トナシ採決ヲ致シマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 岡部豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第十一ヨリ第二十四マデノ請願會議

「左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ」

意見書案

社區裁判所復設ノ件

兵庫縣加東郡社町長松本彌一郎外三十四名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果社區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ姫路區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ姫路區裁判所ヲ距ルコト遠ク時間ト費用トヲ要スルコト多キニ至リタル爲或ハ訴訟ノ時機ヲ失スル者或ハ權利ノ伸張ヲ爲サスシテ已ム者等ヲ生シ延イテ經濟ノ關係ヲ阻害スルニ至リ人民ノ不利損失尠カラサルヲ以テ社區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

田島區裁判所復設ノ件

福島縣南會津郡田島町長鈴木弘二外十二名呈出

右ノ請願ハ前年田島區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ若松區裁判所

ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ土地廣濶ニシテ交通ノ便ヲ闕クノミナラス若松區裁判所トノ距離遠ク殊ニ降雪期ニ於テ交通ノ不便甚シキ故ニ權利ノ伸張ヲ妨ケ其ノ他不利尠少ナラサルヲ以テ田島區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

觀音寺區裁判所復設ノ件

香川縣三豐郡觀音寺町長宮本秋四郎外三十六名呈出

右ノ請願ハ政府ハ前年觀音寺區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ丸龜區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ノ大部分ハ丸龜區裁判所トノ交通不便ニシテ人民等ノ不利損失多ク到底國費ノ節約ト相當ラサルヲ以テ觀音寺區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

木更津區裁判所復設ノ件

千葉縣君津郡木更津町長富川宗助外二十九名呈出

右ノ請願ハ政府ハ先年木更津區裁判所ヲ廢止セラレタルモ同區裁判所ハ四十餘年間千葉縣君津安房ノ兩郡ヲ管轄シ又千葉地方裁判所支部トシテ民刑事務ヲ取扱ヒ其ノ件數尠カラサリシヲ以テ之カ廢止ハ該地方人民ノ最不便トスル所ナルニ依リ同區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

高千穂區裁判所復設ノ件

宮崎縣西臼杵郡高千穂村平民甲斐國愛外二十一名呈出

右ノ請願ハ政府ハ曩ニ高千穂區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル宮崎縣西臼杵郡ヲ舉ケテ延岡區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ同郡ハ地域廣大ニシテ高山重疊シ交通ノ不便ナル他ニ其ノ類ヲ見ス加之延岡區裁判所ヲ距ルコト遠ク人民ノ不利夥シク延イテ地方ノ發展ヲモ阻害スルノ虞アルヲ以テ高千穂區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

富岡區裁判所復設ノ件

群馬縣北甘樂郡富岡町長古澤小三郎外二十二名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果富岡區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ高崎區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタリ然ルニ該區域内ハ各種ノ產業頗殷盛ニシテ之カ爲ニ人民ノ被ル不便不利莫大ナルノミナラス近時廳舍新營ノ爲幾多ノ犠牲ヲ供シタル人民等ノ痛苦特ニ大ナルヲ以テ該區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

三條區裁判所復設ノ件

新潟縣南蒲原郡三條町長渡邊寅藏外十九名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果三條區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ新潟區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域地方ト新潟區裁判所トノ距離遠ク殊ニ降雪期ニ於テハ交通困難ヲ極メ爲ニ人民ノ被ル不利尠カラサルノミナラス區裁判所設置ノ爲特別ノ負擔ヲ忍ビタル人民等ノ痛苦甚大ナルヲ以テ三條區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

大田原區裁判所復設ノ件

栃木縣那須郡大田原町長大橋直次郎外三十二名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果大田原區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄ニ屬セシ栃木縣那須鹽谷ノ兩郡ヲ舉ケテ宇都宮區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタルニ因リ兩郡民ノ被ル不便不利多大ニシテ之カ損失ハ到底國費ノ節約ト相當ラサルヲ以テ速ニ大田原區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

龍野區裁判所復設ノ件

兵庫縣揖保郡龍野町長脇坂兵太呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルルニ當リ龍野區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ姫路區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ之カ爲ニ人民ノ被ル不便損失ノ尠カラサル到底國費ノ節約ニ依リテ得ルモノヲ以テ償フヲ得サルノミナラス龍野町民ノ不利甚大ナルヲ以テ速ニ龍野區裁判所ヲ復設セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

鳥取地方裁判所米子支部權限復舊ノ件

鳥取縣西伯郡米子町辯護士三谷水哉外二十二名呈出

右ノ請願ハ鳥取地方裁判所米子支部ハ前年其ノ權限ヲ殺カレ豫審事務ノ外
總テノ裁判事務ハ擧ケテ之ヲ鳥取地方裁判所ニ歸セラレタル結果該支部ノ
管轄ニ屬スル鳥取縣西伯日野兩郡民ノ被ル不利益多大ナルヲ以テ該支部ノ
權限ヲ復舊セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモ
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

小濱區裁判所復設ノ件

福井縣遠敷郡小濱町長山田正隆外二十三名呈出

右ノ請願ハ政府ハ曩ニ小濱區裁判所ヲ廢止シテ其管轄區域ヲ敦賀區裁判所
ノ所管ニ移サレタルモ該地方ハ敦賀區裁判所ヲ距ルコト遠ク交通不便ナル
爲人民ノ不利尠カラサルノミナラス延イテ地方ノ發展ヲモ阻害スルニ至ル
ヲ以テ小濱區裁判所ヲ復設セララルカ又ハ小濱町ニ出張裁判所ヲ開設セラ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

眞岡區裁判所復設ノ件

栃木縣芳賀郡眞岡町長神田道堅外十九名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果眞岡區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル栃木縣
芳賀郡ヲ擧ケテ宇都宮區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタルモ同郡ト宇都宮
トノ交通頗不便ニシテ人民ノ不利損失尠カラサルノミナラス區裁判所設置
ノ爲從來特殊ノ負擔ヲ忍ヒタル町村人民等ノ痛苦特ニ大ナルヲ以テ眞岡區
裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

佐原區裁判所復設ノ件

千葉縣香取郡佐原町平民醬油釀造業伊能茂左衛門外五十一名呈出
右ノ請願ハ行政整理ノ結果佐原區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ擧ケテ八
日市場區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタルモ交通ノ便宜シカラサル結果該
區域内人民ノ被ル不利益尠カラサルヲ以テ同區裁判所ヲ復設セラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

園部區裁判所復設ノ件

京都府南桑田郡龜岡町平民酒類販賣業田中善之助外五十二名呈出
右ノ請願ハ政府ハ前年園部區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ擧ケテ京都區
裁判所ノ所管ニ移サレタリ然ルニ該管轄ニ屬セシ南桑田郡外二郡ハ共ニ山
嶽重疊ノ間ニ在リ京都區裁判所トノ交通至難ニシテ直接間接ニ人民ノ被ル

不便不利尠少ナラサルニ依リ園部區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二十五ヨリ第三十四マデノ請願會議

意見書案

川島區裁判所復設ノ件

德島縣麻植郡牛島村長日野勢平外十一名呈出

右ノ請願ハ前年行政整理ノ結果川島區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ脇町區裁判所ノ所管ニ移サレタルモ該區域ト脇町トハ交通ノ便ヲ闕キ取引ノ關係薄キヲ以テ人民ノ被ル不便夥シキノミナラス區裁判所設置ノ當時幾多ノ犠牲ヲ供シタル人民等ノ痛苦特ニ大ナルヲ以テ同區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

掛川區裁判所復設ノ件

靜岡縣小笠郡掛川町平民農松本義一郎外五十名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果靜岡縣小笠郡外二郡及磐田郡ノ一部分ヲ管轄區域トセル掛川區裁判所ヲ廢止セラレタルモ該區域ハ土地廣ク民事刑事ノ事伴甚多クシテ裁判所ノ廢止ニ因リテ該地方人民ノ不便損失夥シク之カ設置ノ必要ヲ感スルコト愈切ナルモノアルニ依リ同區裁判所ヲ復設セラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

佐野區裁判所復設ノ件

栃木縣安蘇郡佐野町長大川才次郎外三十名呈出

右ノ請願ハ前年行政整理ノ結果佐野區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル栃木縣安蘇郡及足利郡ヲ舉ケテ栃木區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ產業大ニ發達シ商取引頻繁ニシテ裁判事件夥多ナルノミナラス栃木區裁判所ヲ距ルコト遠ク人民ノ被ル不便損失尠少ナラサルヲ以テ同區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

福岡區裁判所復設ノ件

巖手縣二戸郡福岡町長下斗米常直外十一名呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルルニ當リ福岡區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル巖手縣二戸郡及九戸郡ヲ舉ケテ盛岡區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ土地廣大ニシテ山嶽連互シ且盛岡區裁判所ヲ距ルコト遠ク殊ニ降雪或ハ霖雨ノ期間ニ際シテハ交通最困難ニシテ人民ノ被ル不便不利夥多ナルニ依リ同區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

新庄區裁判所復設ノ件

山形縣最上郡新庄町長西田充賢外十八名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果新庄區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル山形縣最上郡ヲ舉ケテ山形區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ山形區裁判所ヲ距ルコト遠クシテ直接間接ニ人民ノ被ル不利益夥多ナルヲ以テ新庄區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

復古功臣前功表彰ニ關スル件

東京市日本橋區本銀町四丁目平民辯護士高木益太郎外五十四名呈出
右ノ請願ハ夙ニ尊王ノ大義ヲ唱ヘ維新中興ノ大業ニ貢獻シ功績尠カラサル江藤新平、島義勇、前原一誠、奥平謙輔、大山綱良、桂久武、桐野利秋、篠原國幹、村田新八等ヲ表彰セラルハ實ニ功臣ヲ遇スル所以ニシテ又國民多數ノ熱望スル所ナルニ拘ラス未之カ恩命ニ浴セシメラルニ至ラサルハ他ノ功臣ヲ遇セラレタルニ比シ權衡ヲ失スルニ依リ即位ノ大典ヲ行ハセラレタルヲ好機トシ適當ニ之ヲ表彰セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

大垣區裁判所復設ノ件

岐阜縣安八郡大垣町長三原範治外二十一名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果大垣區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄ニ屬セシ岐阜縣安八郡外四郡ヲ舉ケテ岐阜區裁判所ノ所管ニ移サレタリ然ルニ此等數郡ハ土地廣ク戸口多ク從來大垣町ヲ中心トシテ諸種ノ取引關係頻繁ニ行ハレ訴訟事件ノ夥シカリシコト他ニ多ク其ノ類ヲ見ス從テ該區裁判所ノ廢止ニ因リテ被ル不便不利甚大ナルヲ以テ之ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

能代區裁判所復設ノ件

秋田縣山本郡能代港町長笹森基延外三百九十九名呈出
右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルニ當リ能代區裁判所ヲ廢止セラレタルモ其ノ管轄ニ屬セシ秋田縣山本郡ハ能代港町ヲ中心トシテ產業大ニ發達シ裁判事件夥多ニシテ且秋田區裁判所ヲ距ルコト遠ク雷ニ人民ノ不便不利尠カラサルノミナラス大曲、横手兩區裁判所ノ存置セラルニ比シ甚シク權衡ヲ失スルモノナルニ依リ能代區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

大河原區裁判所復設ノ件

宮城縣伊具郡北郷村長船迫嘉四郎外十九名呈出
右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルニ當リ大河原區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域ヲ舉ケテ仙臺區裁判所ノ管轄ニ屬セシメラレタル爲其ノ管轄ニ屬セシ宮

城縣柴田郡外三郡ノ人民等ノ不利損失尠カラサルニ依リ大河原區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

新見區裁判所復設ノ件

岡山縣阿哲郡新見町長田原藤一郎外十三名呈出(二通)

右ノ請願ハ岡山縣阿哲郡ハ地域廣大ニシテ交通極メテ不便ナルヲ以テ曩ニ同郡ヲ管轄スル新見區裁判所ヲ設ケラレタリ然ルニ行政整理ノ結果同區裁判所ヲ廢止シ同郡ヲ高梁區裁判所ノ所轄ニ移サレタルヨリ裁判所トノ距離從前ニ倍加シ郡民ノ不便不利甚大ナルヲ以テ新見區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願モ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ第三十五ヨリ第五十一マデ請願會議

意見書案

札幌區内豐平橋架設ノ件

北海道札幌區南七條西一丁目平民農大久保元義外百九十二名呈出

右ノ請願ハ北海道札幌區内豐平橋ハ樞要ノ國道ニ架設セル大橋ナルニ拘ラス明治四十二年流失ノ厄ニ遭ヒ未築造セラレス斯ノ如キハ交通上不便尠カラサルヲ以テ速ニ之ヲ架設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

岩村田區裁判所復設ノ件

長野縣北佐久郡岩村田町長市川市助外二十七名呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルルニ當リ岩村田區裁判所ヲ廢止シ其ノ管轄區域タル長野縣南佐久郡及北佐久郡ヲ舉ケテ上田區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ該區域ハ土地廣ク事件多ク加之上田區裁判所トノ交通不便ニシテ爲ニ人民ノ蒙ル不便不利尠カラサルニ依リ岩村田區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

巖手縣氣仙郡管轄裁判所變更ノ件

巖手縣氣仙郡日頃市村平民農村上德四郎外百八十八名呈出

右ノ請願ハ一關區裁判所ノ管轄ニ屬スル巖手縣氣仙郡ハ遠野區裁判所ノ管轄ニ屬スル上閉伊郡ト近時人情風俗相近似シ且交通容易トナリ各種ノ關係頗密接トナリタルニ反シ一關トハ交通其ノ他ノ關係甚シク不便ヲ感スルニ至リタルヲ以テ裁判所ノ管轄區域ヲ變更シ氣仙郡ヲ遠野區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

岡山縣久米郡坪和村ニ郵便局設置ノ件

岡山縣久米郡坪和村長村上仲治外五十四名呈出

右ノ請願ハ岡山縣久米郡坪和村ハ山間ノ僻地ナルモ縣内交通ノ要衝ニ當リ
商工ノ事業漸ク發達シ且近時岡山專賣支局葉煙草取扱所ノ設置セラレテヨ
リ以來郵便物ノ數劇増シタルニ拘ラス所管郵便局ヲ距ルコト遠ク官民ノ不
便尠カラサルヲ以テ同村大字中坪和谷字枋原ニ三等郵便局ヲ設置セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

岡山縣赤磐郡石生村管轄郵便局變更ノ件

岡山縣赤磐郡石生村平民農荒内峰治外二百七十一名呈出

右ノ請願ハ岡山縣赤磐郡石生村ハ明治四十年以來同郡萬富郵便局ノ管轄ス
ル所ナルモ距離遠隔ニシテ不便利尠カラサルヲ以テ管轄區域ヲ變更シテ
同村ヲ日常ノ往復頻繁ニシテ且交通至便ナル和氣郡和氣郵便局ノ所管ニ移
サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候
因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

福島區裁判所復設ノ件

長野縣西筑摩郡福島町公吏伊東淳外三十二名呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルニ當リ福島區裁判所ヲ廢止セラレ其ノ管轄
ニ屬セシ長野縣西筑摩郡ヲ松本區裁判所ノ所管ニ屬セシメラレタルモ同郡
ハ山嶽重疊ノ間ニ在リ松本トノ交通甚不便ナル爲或ハ訴訟ノ時機ヲ失スル

者或ハ空シク權利ノ伸張ヲ爲サスシテ已ム者等ヲ生スルニ至リ郡民等ノ蒙
ル不利損失尠カラサルニ依リ同區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ
貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ
依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

岐阜縣本巢郡穗積村ニ郵便局設置ノ件

岐阜縣本巢郡穗積村平民商廣瀬俊三外三十八名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣本巢郡穗積村ハ墨俣郵便局ノ管轄ニ屬スルモ近時村内ニ
東海道鐵道穗積停車場ヲ設置セラレテヨリ以來全ク其ノ面目ヲ改メ百貨ノ
出入頻繁ヲ加ヘタルノミナラス商工ノ事業頓ニ殷盛トナリタル爲郵便局ノ
必要ヲ感スルコト切ナルニ至リタルヲ以テ同停車場附近ニ郵便局ヲ設置セ
ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候
因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

福島縣信夫郡岡山村ニ郵便局設置ノ件

福島縣信夫郡岡山村長和合庄吉呈出

右ノ請願ハ福島縣信夫郡岡山村ハ縣道ノ分岐點ニ當リ貨客ノ出入頻繁ナル
ノミナラス蠶絲蠶種ノ製造夥シク隨テ郵便並貯金機關ノ設置ヲ要スルモノ
切ナリト雖里餘ヲ隔ツル福島郵便局ノ所管ニ屬シ不便利多キヲ以テ村内
大字岡部地内ニ無集配郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願
意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及
送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

軍人恩給法規中改正ノ件

青森縣北津輕郡中川村平民農笠井運吉郎外七名呈出

和歌山縣和歌山市小松原通五丁目平民豫備役陸軍工兵少尉戶臺龜助外三十六名呈出

青森縣弘前市大字坂本町士族無職業退役陸軍歩兵大佐奥田正忠外九十七名呈出

兵庫縣加東郡小野町平民農平出芳藏外五十三名呈出

熊本縣阿蘇郡白水村平民農中山眞一外十五名呈出

右ノ請願ハ明治四十四年法律第五十九號ヲ以テ軍人恩給法ヲ改正セラレタルモ改正ノ恩典ハ同法施行以前ヨリ恩給ヲ受クル者ニ及ハス然レトモ恩給ヲ受クルノ事由カ改正法律施行期ノ前後ニ生シタルニ因リテ恩遇ヲ異ニセラルルノ理ナキノミナラス彼此權衡ヲ失スルモノト謂ハサルヘカラス又日清日露ノ戰役ニ於テ不具トナリタル者又ハ戰死病歿シタル者ノ遺族ニシテ飢渴ニ苦シム者尠カラス依テ同法附則ヲ改正シ明治四十四年三月三十一日以前ニ恩給ヲ受クル者ニモ齊シク改正法ノ恩典ヲ與ヘシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

長野縣小縣郡和村ニ郵便局設置ノ件

長野縣小縣郡和村平民銀行業兒玉衛一外二名呈出

右ノ請願ハ長野縣小縣郡和村字東上田區ハ戸口多ク製絲業其ノ他工場及銀行等ノ所在地ニシテ商業殷盛ヲ極メ郵便物並貯金ノ數額頗ニ増加シタルモ所轄郵便局トノ交通困難ニシテ不便多大ナルヲ以テ東上田區ニ無集配郵便

局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

信託會社法制定ノ件

東京市小石川區丸山町平民宮下定次郎外七名呈出

右ノ請願ハ近年著シク發達セル信託事業ヲ保護シ且之ト類似ノ業務ヲ營ム者ノ取締ヲ爲スハ最必要ナルヲ以テ請願人等所案ノ如ク其ノ事務ノ範圍ヲ定メ且資本ノ制限取締役ノ責任等ヲ規定スル信託會社法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

魚津區裁判所復設ノ件

富山縣下新川郡魚津町長佐伯有臺外四十一名呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルルニ當リ魚津區裁判所ノ廢止セラレタル爲其ノ管轄區域ニ屬シタル富山縣下新川郡人民等ノ蒙ル不便不利多大ニシテ到底忍ビ難キ所ナルニ依リ之ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

貴族院議長公爵德川家達

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

意見書案

兵庫縣加古郡阿閉村ニ郵便局設置ノ件

兵庫縣加古郡阿閉村平民質屋業松浦武藏外六十名呈出

右ノ請願ハ兵庫縣加古郡阿閉村ハ近年酒造織物等ノ製造工業著シク發達シ且漁業殷盛ニシテ魚市場ノ設置セララルアリ通信ノ數増加シタル爲同村ヲ二見郵便局ノ所管ニ屬セシメラルハ不便甚シキヲ以テ村内本莊村ニ郵便局ヲ設置シ電信事務ノ取扱ヲモ開始セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

武生區裁判所復設ノ件

福井縣南條郡武生町平民商三田村甚之助呈出

右ノ請願ハ行政整理ヲ行ハルルニ當リ武生區裁判所ヲ廢止セラレタルモ其ノ管轄ニ屬セシ福井縣南條郡武生町ハ縣内交通ノ要路ヲ占メ產業殷盛ヲ極メ裁判事件夥多ニシテ且福井區裁判所ヲ距ルコト遠ク人民ノ被ル不便損失尠カラサルヲ以テ武生區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

神戸地方裁判所豐岡支部權限復舊ノ件

兵庫縣城崎郡豐岡町銀行員佐川恆太郎外八十名呈出
右ノ請願ハ行政整理ノ結果神戸地方裁判所豐岡支部ノ權限ヲ縮少セラレタル爲本廳トノ距離遠キ兵庫縣城崎郡豐岡町民等ノ蒙ル不便損失尠カラサルヲ以テ該支部ノ權限ヲ復舊セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體

ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

福島區裁判所復設ノ件

福岡縣八女郡福島町長立花鎮毓外二十七名呈出

右ノ請願ハ行政整理ノ結果福島區裁判所ヲ廢止セラレタルモ其ノ管轄ニ屬シタル福岡縣八女郡ハ戸口多ク諸種ノ產業發達シ裁判事件夥多ナルニ拘ラス同郡ヲ柳河區裁判所ノ所管ニ變セラレタルハ郡民等ノ忍ヒ難キ所ナルニ依リ福島區裁判所ヲ復設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

意見書案

揖斐川及根尾川砂防工事施行ノ件

岐阜縣本巢郡根尾村平民農佐藤忠治郎外千五百六十七名呈出

右ノ請願ハ岐阜縣下揖斐川及根尾川ノ上流ニ在ル山嶽ハ先年濃尾地方ノ大震災ニ當リ甚シク崩壞シタルモ未之カ砂防工事ノ完成ヲ見ス爲ニ兩川ハ屢氾濫シ沿岸地方ノ被害尠カラス而シテ之カ災害ヲ除カムハ到底薄資ナル民力ノ堪フル所ニアラサルヲ以テ政府ニ於テ之カ實狀ヲ調査セラレ國費ヲ以テ砂防工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正五年 月 日

內閣總理大臣伯爵大隈重信殿

貴族院議長公爵德川家達

○議長(公爵德川家達君) 是等ノ請願モ請願委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今議了イタシマシタ豫算案ハ衆議院ニ回付ヲ致ス手續ヲ致サセマシタ、必ズ衆議院ニ於テモ同意ヲ表セラルトハ存ジマシガ、其他ニ必要ガ生ジマシタナラバ、本日中ニ再ビ此議場ヘ御集リヲ願フカモ存ジマセヌ、此段ハ御含置キヲ請ヒマス、是ニテ散會ヲ告ゲマス

午後六時四十八分散會